

山梨市住民意向調査 報告書

平成 25 年 3 月



公益財団法人 山梨総合研究所

目 次

| | |
|--|-----------|
| 1. 調査概要 | 1 |
| ① 調査の目的..... | 1 |
| ② 調査時期..... | 1 |
| ③ 調査対象..... | 1 |
| ④ 調査方法..... | 1 |
| ⑤ アンケート内容..... | 1 |
| ⑥ 回収結果..... | 2 |
| ⑦ 本報告書中の記号、調査結果の数値について..... | 2 |
| 2. 回答者の属性（SA） | 3 |
| ① 性別..... | 3 |
| ② 年齢..... | 4 |
| ③ 居住地区..... | 5 |
| ④ 居住年数..... | 6 |
| ⑤ 家族構成..... | 7 |
| ⑥ 職業..... | 8 |
| ⑦ 通勤・通学先..... | 9 |
| 3. 山梨市の魅力・住みやすさ | 11 |
| ① 山梨市の魅力について..... | 11 |
| ② 山梨市の住みやすさについて..... | 12 |
| ③ 山梨市の住みやすさ／住みにくさの理由..... | 13 |
| ④ 山梨市に対する愛着を感じていますか..... | 14 |
| 4. 満足度、重要度等 | 15 |
| 5. 分野ごとの各施策の必要性 | 17 |
| ① 環境問題やエネルギー問題に対応するための取り組み..... | 17 |
| ② 産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するための取り組み..... | 18 |
| ③ 観光を盛んにするための取り組み..... | 20 |
| ④ 高齢化が進む社会に対応するための取り組み..... | 21 |
| ⑤ 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための取り組み..... | 24 |
| ⑥ 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み..... | 27 |
| ⑦ 学校教育・生涯学習分野での取り組み..... | 28 |
| ⑧ 今後の行政体制・行政運営に対しての取り組み..... | 29 |
| 6. 市民と行政とのあり方について | 30 |

| | |
|--------------------------------------|----|
| ① 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について | 30 |
| ② 市の窓口サービスについて | 31 |
| ③ 今後参加したい公共的な活動..... | 32 |
| 7. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて | 35 |
| 8. まちづくり指標について..... | 36 |
| 9. 男女共同参画について | 37 |
| 10. 東日本大震災のあとのコミュニティ意識について..... | 39 |
| 資料編 アンケート調査票 | 41 |

1. 調査概要

① 調査の目的

山梨市の主な施策に対する、市民の満足度や必要度を把握し、住民のニーズに対応した施策を推進するための基礎資料とする。併せて、総合計画に示されたまちづくり指標についても確認する。

② 調査時期

アンケート期間：平成 25 年 1 月 28 日(月)～2 月 14 日(木)

※調査票回収期間は 3 月 5 日(火)まで延長した。

また、記入に際しての基準日は平成 25 年 2 月 1 日とした。

③ 調査対象

20 歳以上の市民 2,000 人を対象とした。

標本抽出方法としては、旧市町村ごとの人口に注目した比例配分法による層化無作為抽出を行った。

④ 調査方法

郵送配布・郵送回収方式

⑤ アンケート内容

| 大項目 | 小項目 | 対応設問 | 設問数 |
|----------------------------|----------------------|-------|-------|
| 山梨市の魅力・ 住みやすさ | 山梨市の魅力 | 問 1 | 1 5 |
| | 山梨市の住みやすさ | 問 2・3 | 1 2 |
| | 山梨市に対する愛着 | 問 4 | 1 |
| 満足度・重要度 | 施策に対する満足度と重要度の認識 | 問 5 | 各 2 5 |
| 分野ごとの各施策の 必要性 | 環境エネルギー分野 | 問 6 | 9 |
| | 産業（農林業・商業・工業・観光業）分野 | 問 7 | 1 0 |
| | 観光分野 | 問 8 | 1 0 |
| | 高齢者福祉分野 | 問 9 | 1 1 |
| | 次世代育成（子育て）分野 | 問 1 0 | 1 0 |
| | 防災分野 | 問 1 1 | 1 1 |
| | 学校教育・生涯学習分野 | 問 1 2 | 1 5 |
| | 行政体制・行政運営 | 問 1 3 | 8 |
| 市民と行政との あり方 | 行財政改革と市民負担 | 問 1 4 | 5 |
| | 窓口サービスの向上 | 問 1 5 | 1 |
| | 今後参加したい公共活動 | 問 1 6 | 1 |
| 山梨市の将来像 と望ましい地域 イメージ | 10 年後の山梨市について | 問 1 7 | 1 |
| まちづくり指標 | 総合計画に示すまちづくり指標について | 問 1 8 | 9 |
| 男女共同参画の 実現 | 男女共同参画の認知度、状況について | 問 1 9 | 9 |
| コミュニティ意識 | 東日本大震災後のコミュニティ意識について | 問 2 0 | 7 |

⑥ 回収結果

送付数：2,000

回収数：1,284

有効回収数：1,283

有効回収率：64.2%

⑦ 本報告書中の記号、調査結果の数値について

(SA) …… 単一回答 (Single Answer) の略。選択回答は1項目のみ。

(MA) …… 複数回答 (Multi Answer) の略。

(一部回答を限定しているものもある。)

複数回答における回答率は100%を超える場合があります。

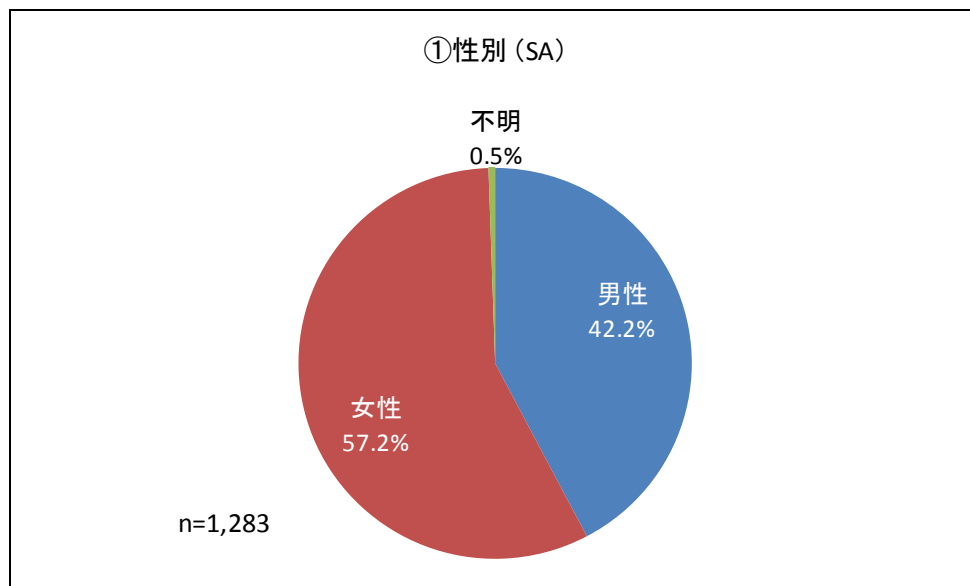
n …… 回答者数 (number) をあらわす。「n=100」は、回答者数が100人ということ。

※ 各回答項目の構成比は、小数点第二位を四捨五入しているため、各項目の合計が100%にならない場合もあります。

2. 回答者の属性(SA)

① 性別

今回のアンケート調査で回答が得られた1,283人のうち、男性は42.2%、女性は57.2%であった。

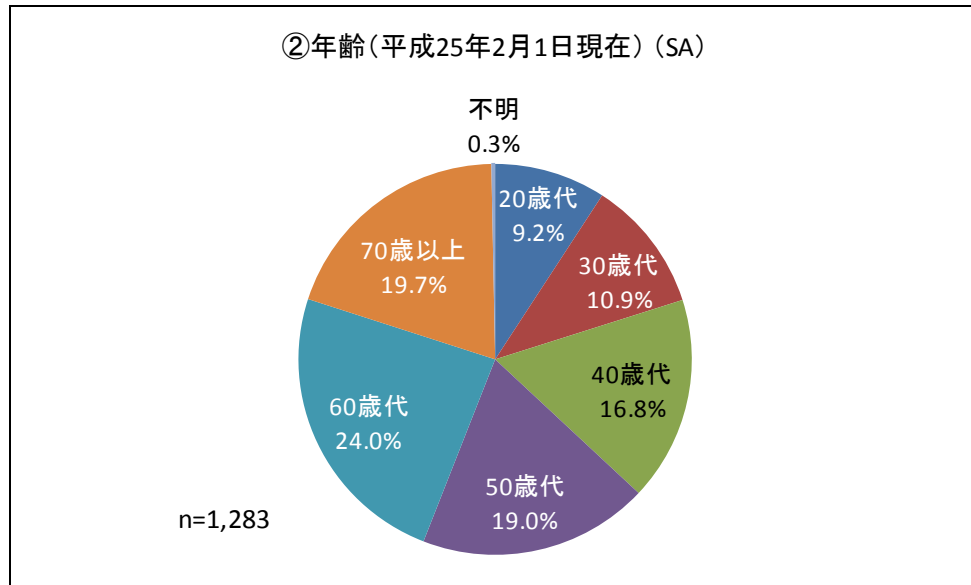


| カテゴリ | 件 | % |
|-------|-------|-------|
| 男性 | 542 | 42.2 |
| 女性 | 734 | 57.2 |
| 不明 | 7 | 0.5 |
| サンプル数 | 1,283 | 100.0 |

② 年齢

今回のアンケート調査に回答した市民の年齢構成は、「60歳代」が24.0%と最も高く、「70歳以上」(19.7%)、「50歳代」(19.0%)と続いた。

その一方、最も低いのは「20歳代」で9.2%だった。

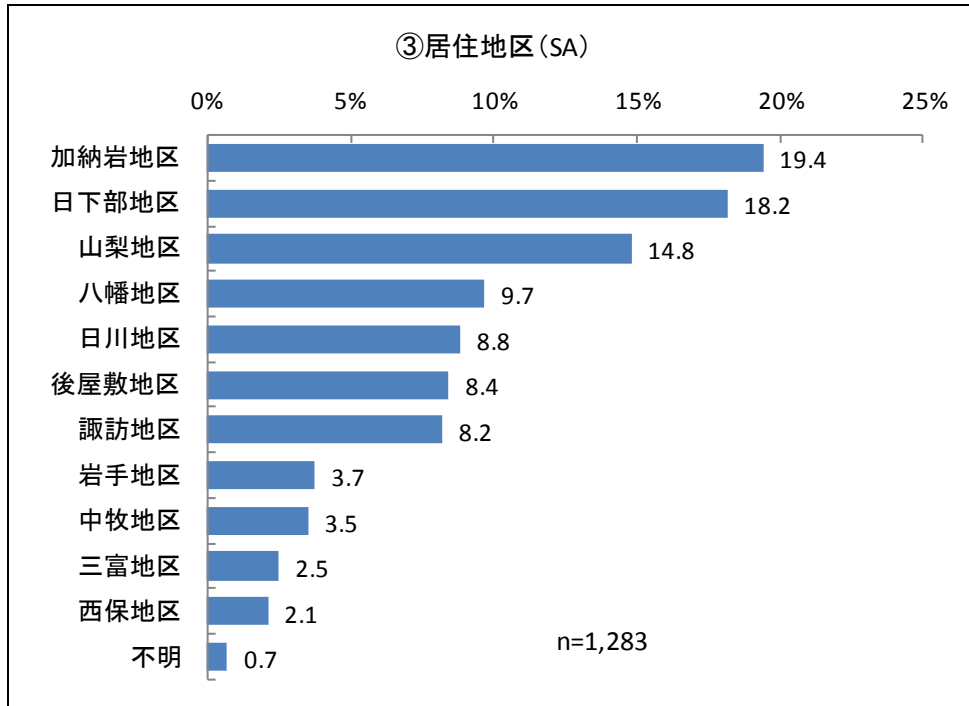


| カテゴリ | 件 | % |
|-------|-------|-------|
| 20歳代 | 118 | 9.2 |
| 30歳代 | 140 | 10.9 |
| 40歳代 | 216 | 16.8 |
| 50歳代 | 244 | 19.0 |
| 60歳代 | 308 | 24.0 |
| 70歳以上 | 253 | 19.7 |
| 不明 | 4 | 0.3 |
| サンプル数 | 1,283 | 100.0 |

③ 居住地区

今回のアンケート調査に回答した市民の居住地の割合は、「加納岩地区」が19.4%と最も高く、次いで「日下部地区」(18.2%)、「山梨地区」(14.8%)と続いた。

各地区の20歳以上の人口に対する回答者の割合は3.2%~5.0%となっている。



| カテゴリ | 件 | % |
|-------|-------|-------|
| 加納岩地区 | 249 | 19.4 |
| 日下部地区 | 233 | 18.2 |
| 山梨地区 | 190 | 14.8 |
| 八幡地区 | 124 | 9.7 |
| 日川地区 | 113 | 8.8 |
| 後屋敷地区 | 108 | 8.4 |
| 諏訪地区 | 105 | 8.2 |
| 岩手地区 | 48 | 3.7 |
| 中牧地区 | 45 | 3.5 |
| 三富地区 | 32 | 2.5 |
| 西保地区 | 27 | 2.1 |
| 不明 | 9 | 0.7 |
| サンプル数 | 1,283 | 100.0 |

| 地区名 | ① 20歳以上人口 | ② 回答者数 | 各地区20歳以上人口に対する回答者数の割合 (②/①) |
|-------|--------------|-----------|--------------------------------|
| 加納岩地区 | 5,947 | 249 | 4.2% |
| 日下部地区 | 5,717 | 233 | 4.1% |
| 八幡地区 | 3,027 | 124 | 4.1% |
| 山梨地区 | 3,879 | 190 | 4.9% |
| 日川地区 | 3,016 | 113 | 3.7% |
| 後屋敷地区 | 2,852 | 108 | 3.8% |
| 岩手地区 | 951 | 48 | 5.0% |
| 諏訪地区 | 2,475 | 105 | 4.2% |
| 中牧地区 | 1,388 | 45 | 3.2% |
| 西保地区 | 668 | 27 | 4.0% |
| 三富地区 | 891 | 32 | 3.6% |
| 合計 | ※130,811 | ※21,274 | 4.1% |

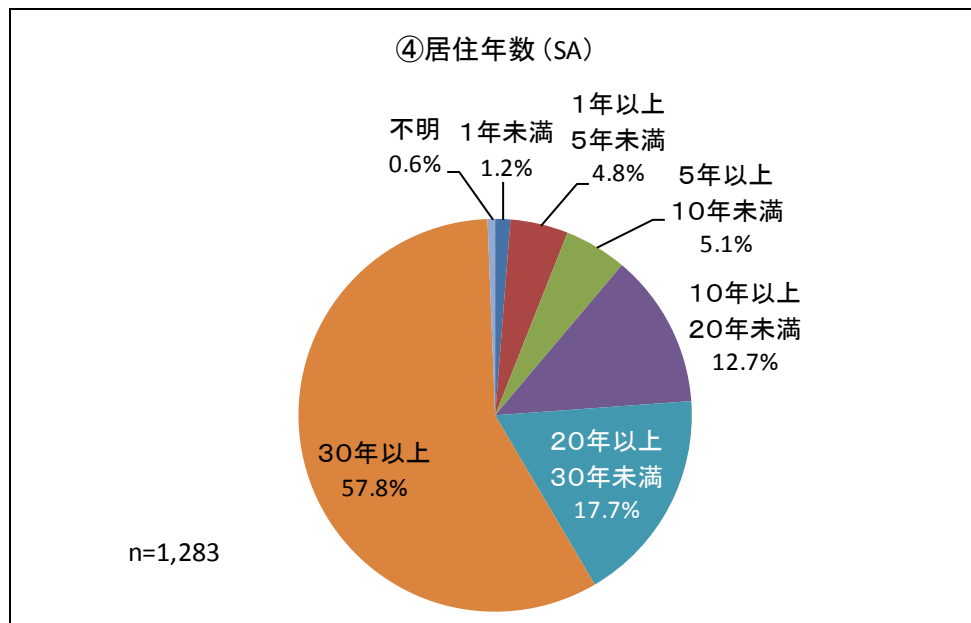
※1:20歳以上人口 H25.2.1現在

※2:地区無回答 9件

④ 居住年数

今回のアンケート調査における回答者の、山梨市（旧牧丘町・三富村を含む）への居住年数は、「30年以上」が最も高く、半数を超える57.8%を占めた。次いで「20年以上30年未満」が17.7%、「10年以上20年未満」が12.7%だった。

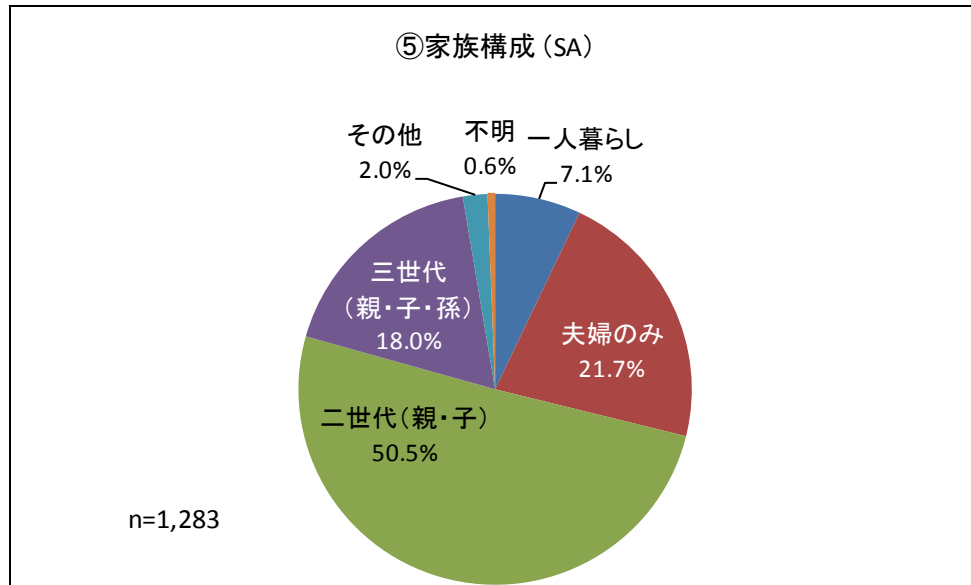
居住年数が10年以上の回答者が、全回答者の88.2%を占めている。



| カテゴリ | 件 | % |
|------------|-------|-------|
| 1年未満 | 16 | 1.2 |
| 1年以上5年未満 | 61 | 4.8 |
| 5年以上10年未満 | 66 | 5.1 |
| 10年以上20年未満 | 163 | 12.7 |
| 20年以上30年未満 | 227 | 17.7 |
| 30年以上 | 742 | 57.8 |
| 不明 | 8 | 0.6 |
| サンプル数 | 1,283 | 100.0 |

⑤ 家族構成

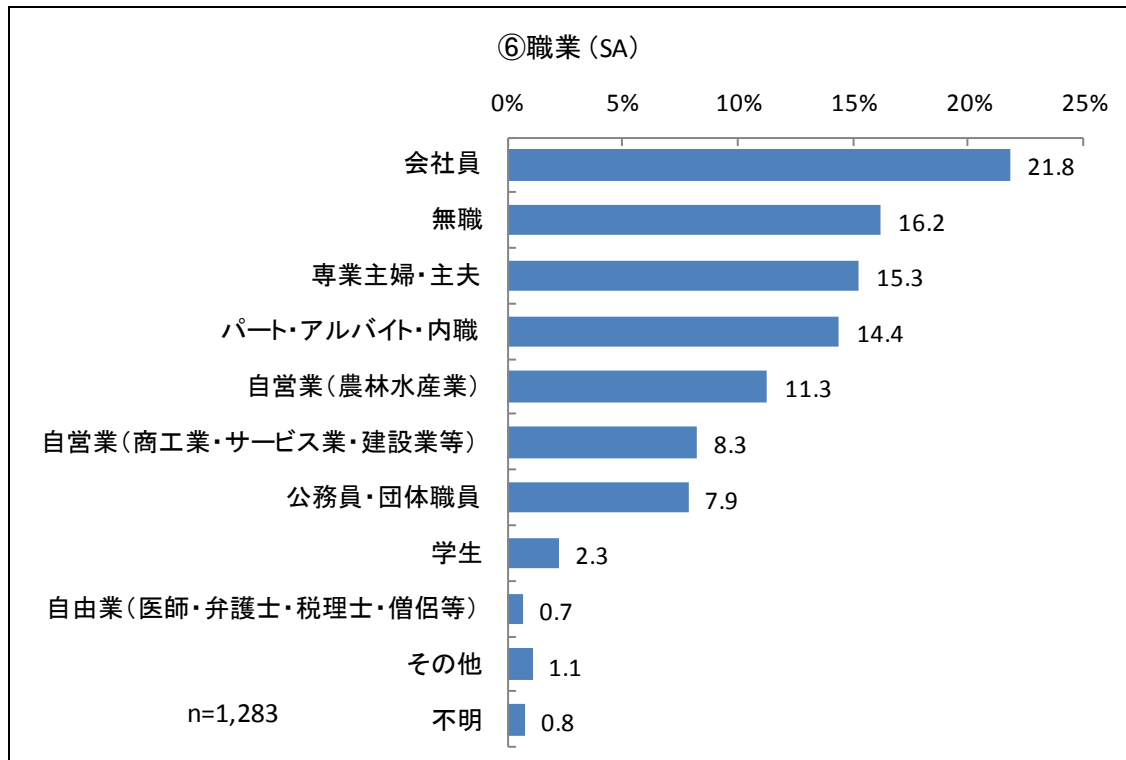
今回のアンケート調査における回答者の家族構成は、「二世代（親・子）」が最も高く50.5%を占めた。次いで「夫婦のみ」21.7%、「三世代（親・子・孫）」の18.0%の順となった。「一人暮らし」は、7.1%だった。



| カテゴリ | 件 | % |
|------------|-------|-------|
| 一人暮らし | 91 | 7.1 |
| 夫婦のみ | 279 | 21.7 |
| 二世代(親・子) | 648 | 50.5 |
| 三世代(親・子・孫) | 231 | 18.0 |
| その他 | 26 | 2.0 |
| 不明 | 8 | 0.6 |
| サンプル数 | 1,283 | 100.0 |

⑥ 職業

今回のアンケート調査の回答者の職業では、「会社員」が最も高く 21.8%、次いで「無職」が 16.2%、「専業主婦・主夫」が 15.3%だった。

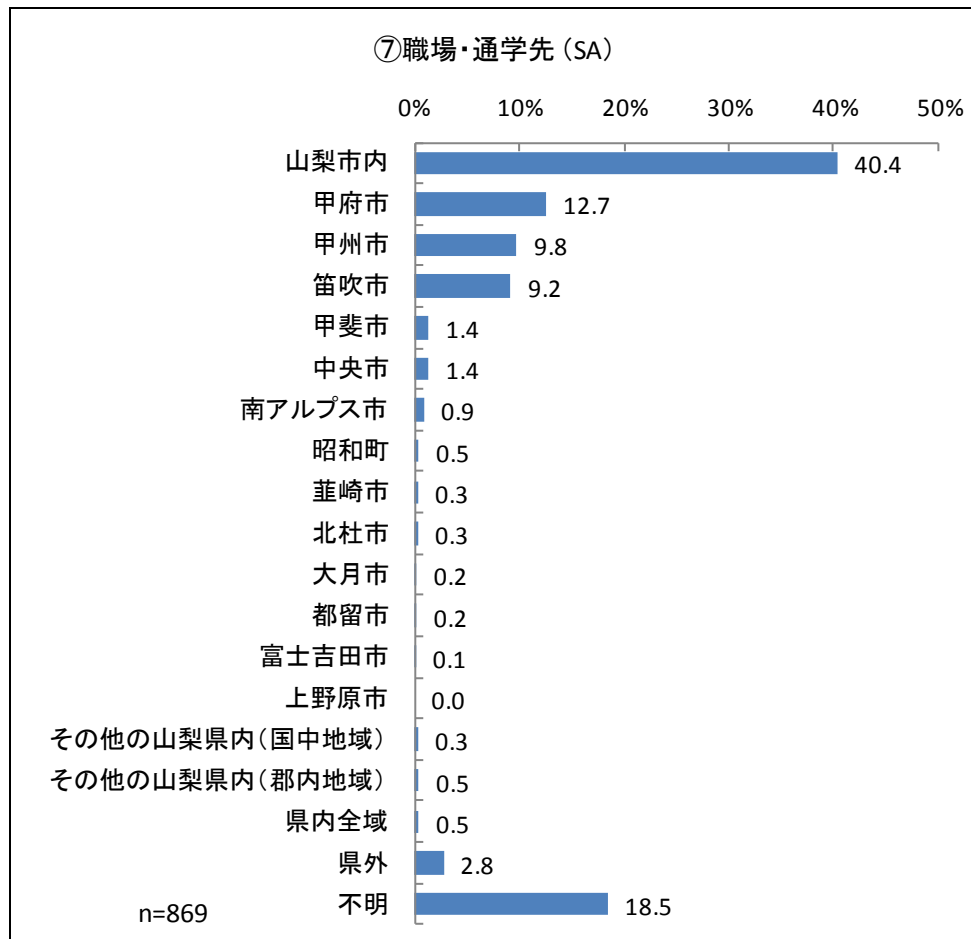


| カテゴリ | 件 | % |
|---------------------|-------|-------|
| 会社員 | 280 | 21.8 |
| 無職 | 208 | 16.2 |
| 専業主婦・主夫 | 196 | 15.3 |
| パート・アルバイト・内職 | 185 | 14.4 |
| 自営業(農林水産業) | 145 | 11.3 |
| 自営業(商工業・サービス業・建設業等) | 106 | 8.3 |
| 公務員・団体職員 | 101 | 7.9 |
| 学生 | 29 | 2.3 |
| 自由業(医師・弁護士・税理士・僧侶等) | 9 | 0.7 |
| その他 | 14 | 1.1 |
| 不明 | 10 | 0.8 |
| サンプル数 | 1,283 | 100.0 |

⑦ 通勤・通学先

今回のアンケート調査における回答者の通勤・通学先は、山梨市内が最も高く 40.4%、次いで甲府市が 12.7%、甲州市が 9.8%、笛吹市が 9.2%だった。

なお、不明 161 人 (18.5%) のうち 60 人が、職業を問う⑥で「1. 自営業 (農林水産業)」を選択している。



| カテゴリ | 件 | % |
|----------------|-----|-------|
| 山梨市内 | 351 | 40.4 |
| 甲府市 | 110 | 12.7 |
| 甲州市 | 85 | 9.8 |
| 笛吹市 | 80 | 9.2 |
| 甲斐市 | 12 | 1.4 |
| 中央市 | 12 | 1.4 |
| 南アルプス市 | 8 | 0.9 |
| 昭和町 | 4 | 0.5 |
| 韮崎市 | 3 | 0.3 |
| 北杜市 | 3 | 0.3 |
| 大月市 | 2 | 0.2 |
| 都留市 | 2 | 0.2 |
| 富士吉田市 | 1 | 0.1 |
| 上野原市 | 0 | 0.0 |
| その他の山梨県内(国中地域) | 3 | 0.3 |
| その他の山梨県内(郡内地域) | 4 | 0.5 |
| 県内全域 | 4 | 0.5 |
| 県外 | 24 | 2.8 |
| 不明 | 161 | 18.5 |
| 合計 | 869 | 100.0 |

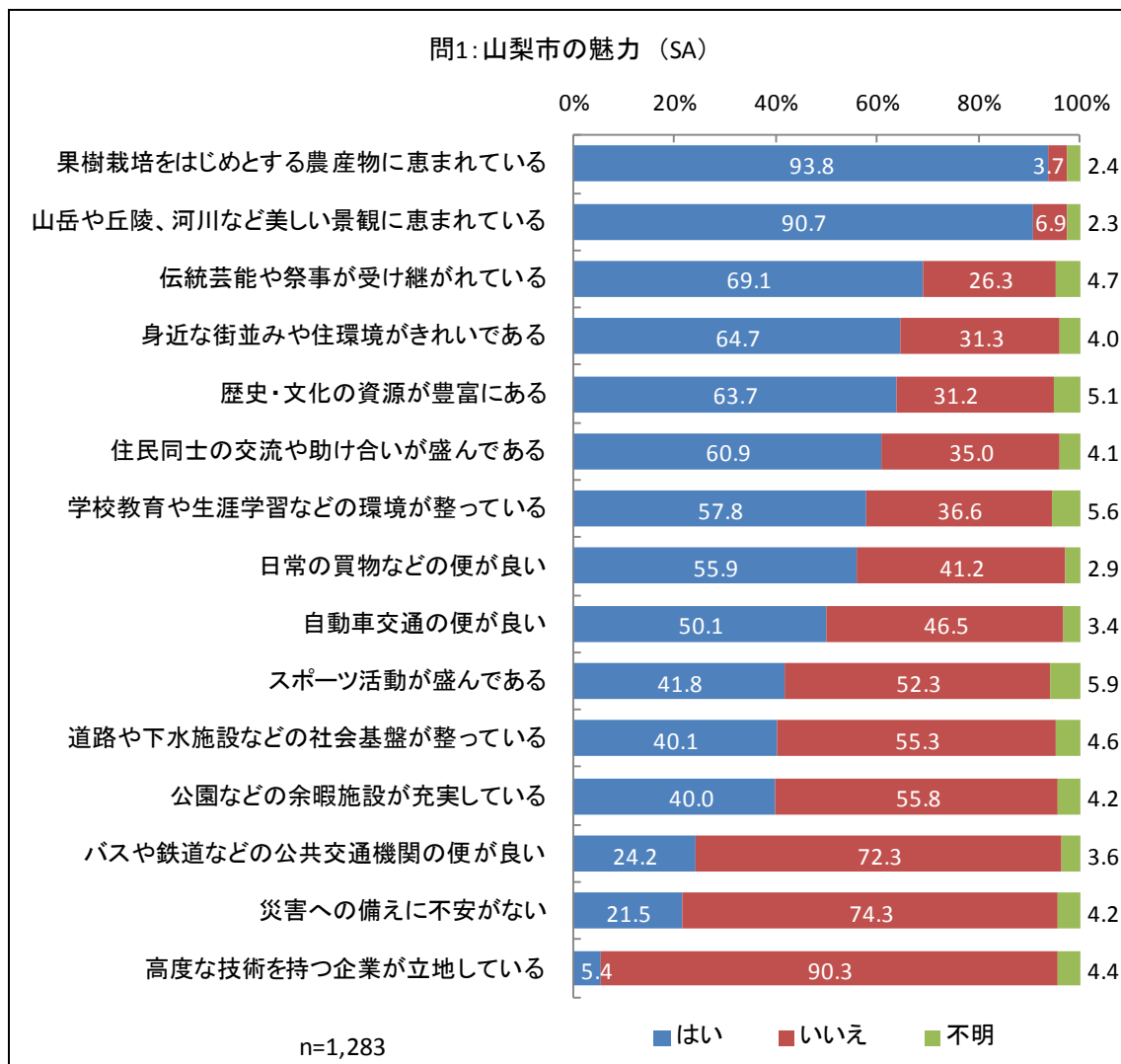
※⑥にて「無職」、「専業主婦・主夫」と回答した方以外が対象

3. 山梨市の魅力・住みやすさ

① 山梨市の魅力について

山梨市の魅力についてたずねた。肯定する「はい」という回答が最も高かったのは、「果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている」で 93.8%、続いて「山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている」が 90.7%、「伝統芸能や祭事が受け継がれている」が 69.1%であった。

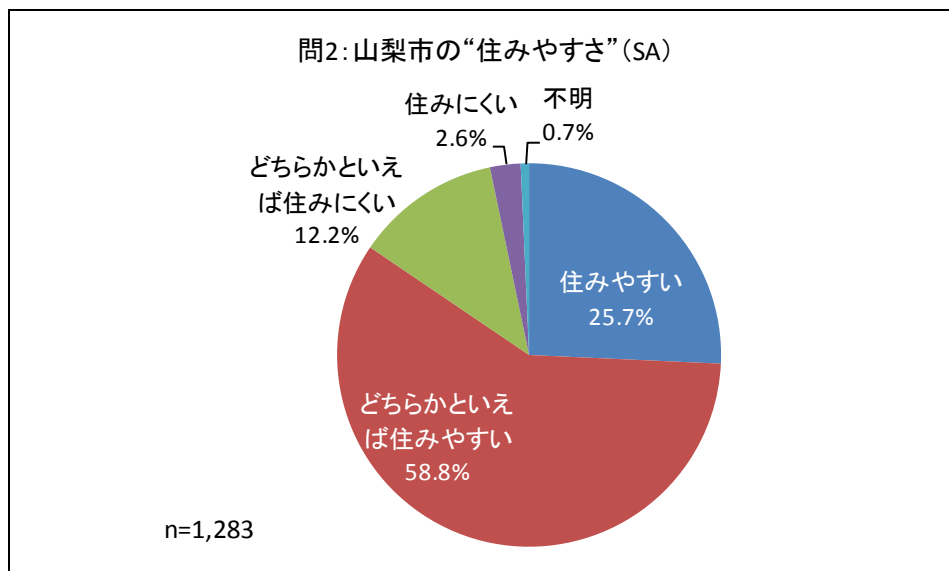
逆に、否定する「いいえ」という回答が高かったのは、「高度な技術を持つ企業が立地している」が 90.3%、「災害への備えに不安がない」が 74.3%、「バスや鉄道などの公共交通機関の便が良い」が 72.3%であった。特に「高度な技術を持つ企業が立地している」がひとときわ高い結果となった。



② 山梨市の住みやすさについて

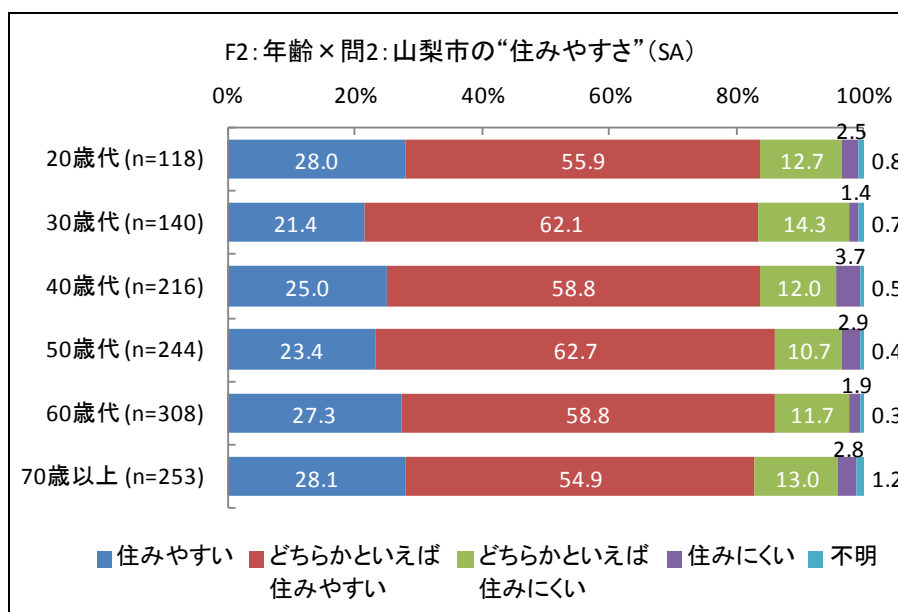
山梨市の住みやすさについてたずねた。「住みやすい」が 25.7%、「どちらかといえば住みやすい」が 58.8%と、住みやすさに対して肯定的な回答が 84.5%を占めた。

「住みにくい」は 2.6%であり、「どちらかといえば住みにくい」(12.2%)とあわせ否定的な回答は 14.8%あった。



山梨市の住みやすさについて年代別に集計すると、肯定的な回答が最も高くなっているのは、「50歳代」と「60歳代」で 86.1%だった。

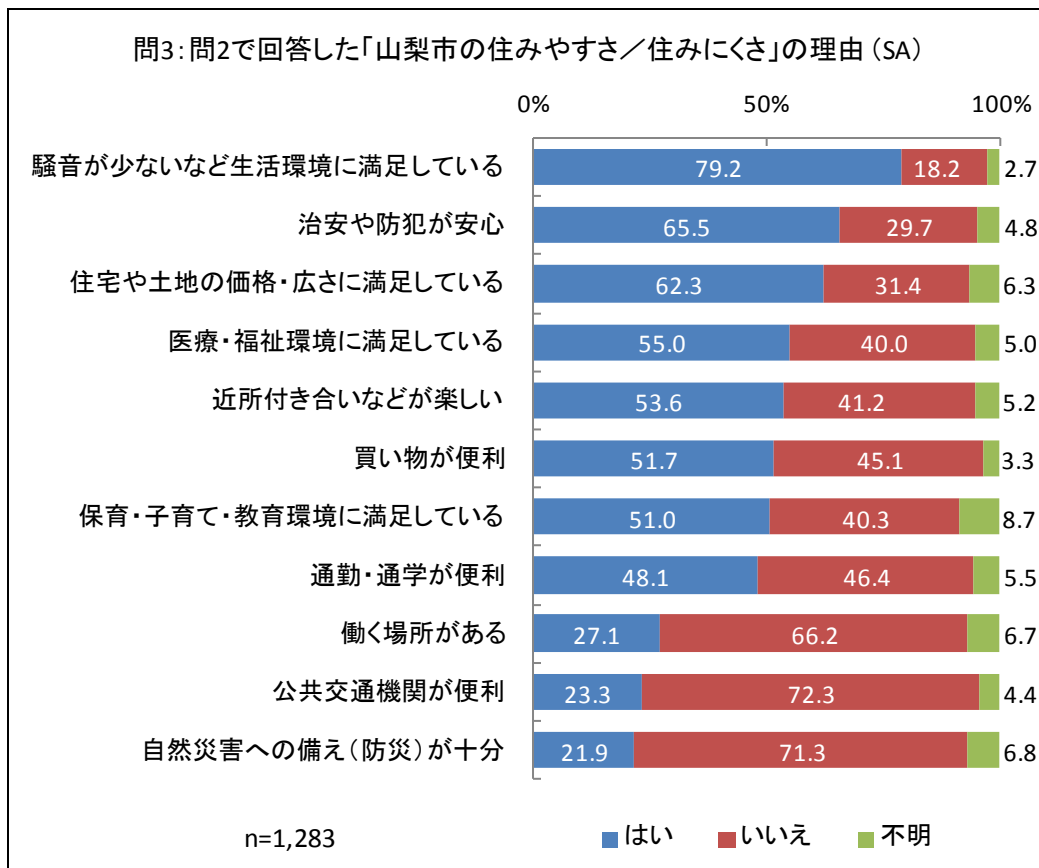
以下「20歳代」(83.9%)、「40歳代」(83.8%)、「30歳代」(83.5%)、「70歳以上」(83.0%)と続いているが、いずれも全体集計の 84.5%を下回っている。



③ 山梨市の住みやすさ／住みにくさの理由

問2における「住みやすさ」及び「住みにくさ」について、その理由をたずねた。住みやすいと感じている回答が最も高かったのは、「騒音が少ないなど生活環境に満足している」で79.2%、次いで「治安や防犯が安心」が65.5%、「住宅や土地の価格・広さに満足している」が62.3%だった。

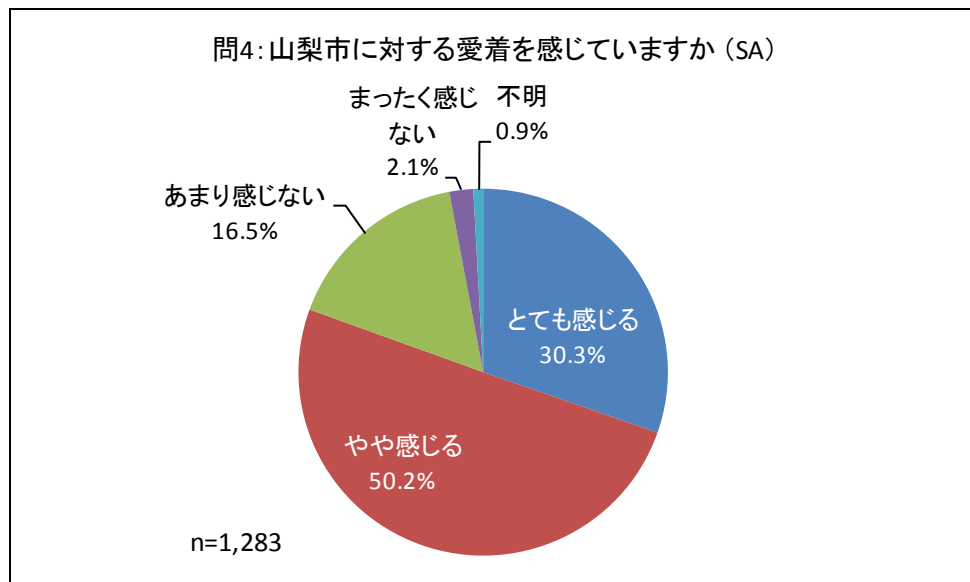
住みやすいと感じる回答が低かったのは、「自然災害への備え(防災)が十分」(21.9%)、「公共交通機関が便利」(23.3%)、「働く場所がある」(27.1%)となっている。



④ 山梨市に対する愛着を感じていますか

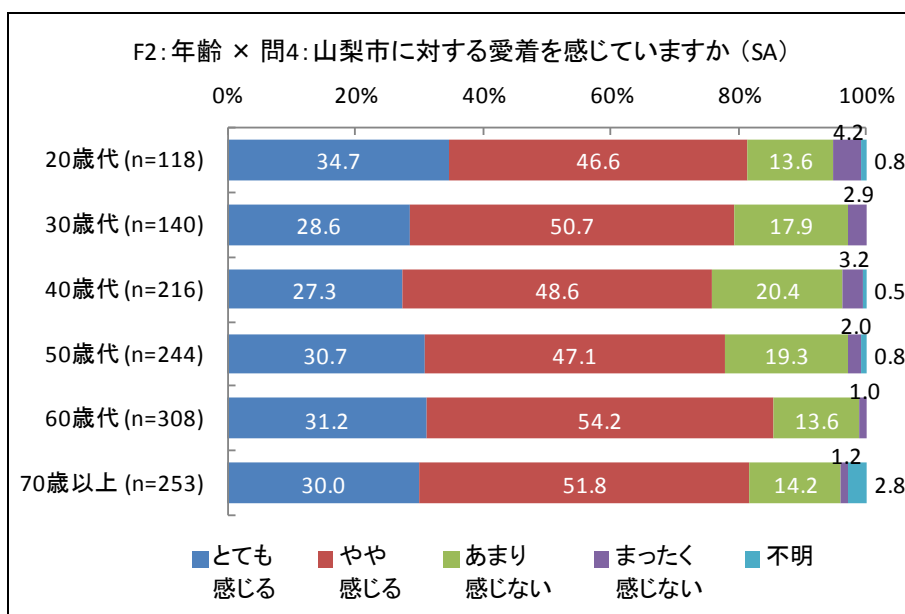
山梨市に対する愛着をたずねた。「とても感じる」が30.3%、「やや感じる」が50.2%と、肯定的な回答が80.5%を占めた。

「まったく感じない」は2.1%であり、「あまり感じない」(16.5%)とあわせ否定的な意見は18.6%あった。



山梨市に対する愛着について年代別に集計すると、肯定的な回答が最も高くなっているのは、「60歳代」で85.4%、次いで「70歳以上」で81.8%だった。

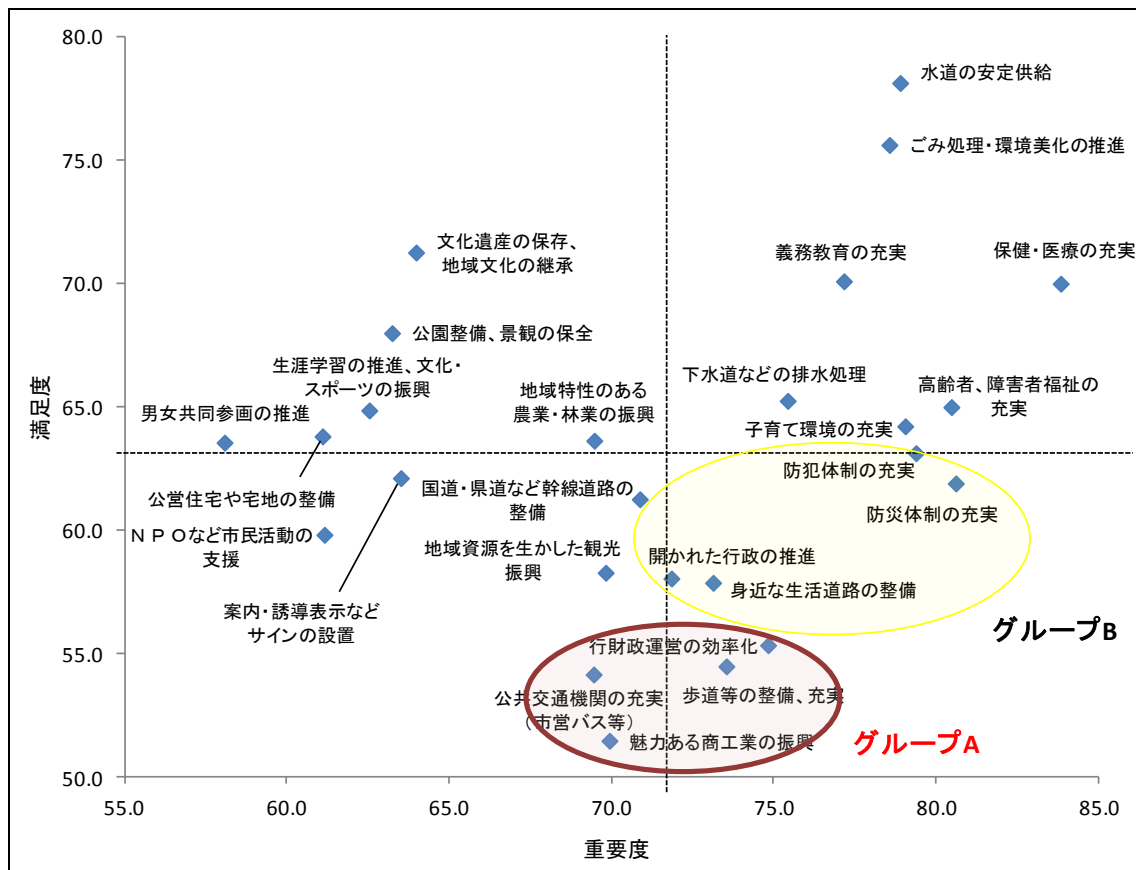
次に続くのは、「とても感じる」と回答した割合が全年代を通じて最も高くなった「20歳代」で81.3%となっており、以下「30歳代」(79.3%)、「50歳代」(77.8%)、「40歳代」(75.9%)と総じて壮年世代の率が低く、全体集計の80.5%を下回っている。



4. 満足度、重要度等

市が実施する施策にどの程度満足しているのかということと、各施策をどの程度重要であると考えているのかを、満足度と重要度としてたずねた。満足度については、「満足している」、「やや満足している」、「やや不満である」、「不満である」の4段階で、重要度については、「きわめて重要である」、「かなり重要である」、「まあ重要である」、「あまり重要ではない」の4段階でたずねた。集計に当たっては、満足度、重要度が高いほうから低いほうに向かって、100点、75点、50点、25点を割り振り、各施策について回答者の平均点を算出した。計算の結果を、重要度を横軸に、満足度を縦軸にとり、散布図形式で示した。

なお、図中に示した点線は、満足度、重要度の全体の平均値（満足度 63.3 重要度 71.6）を表している。



グループAは、満足度が特に低くなっており、以下の4施策が含まれる。

| 施策 | 満足度の点数 |
|------------------|--------|
| 魅力ある商工業の振興 | 51.5 |
| 公共交通機関の充実（市営バス等） | 54.2 |
| 歩道等の整備、充実 | 54.5 |
| 行財政運営の効率化 | 55.4 |

グループBは、市民の重要度の認識は高いものの、満足度がやや低くなっており、以下の4施策が含まれる。

| 施策 | 満足度の点数 | 重要度の点数 |
|------------|--------|--------|
| 身近な生活道路の整備 | 57.9 | 73.1 |
| 開かれた行政の推進 | 58.1 | 71.8 |
| 防災体制の充実 | 61.9 | 80.6 |
| 防犯体制の充実 | 63.1 | 79.4 |

満足度順

| | カテゴリ | 満足度 |
|----|--------------------|------|
| 1 | 水道の安定供給 | 78.2 |
| 2 | ごみ処理・環境美化の推進 | 75.6 |
| 3 | 文化遺産の保存、地域文化の継承 | 71.3 |
| 4 | 義務教育の充実 | 70.1 |
| 5 | 保健・医療の充実 | 70.0 |
| 6 | 公園整備、景観の保全 | 68.0 |
| 7 | 下水道などの排水処理 | 65.3 |
| 8 | 高齢者、障害者福祉の充実 | 65.0 |
| 9 | 生涯学習の推進、文化・スポーツの振興 | 64.9 |
| 10 | 子育て環境の充実 | 64.2 |
| 11 | 公営住宅や宅地の整備 | 63.8 |
| 12 | 地域特性のある農業・林業の振興 | 63.6 |
| 13 | 男女共同参画の推進 | 63.6 |
| 14 | 防犯体制の充実 | 63.1 |
| 15 | 案内・誘導表示などサインの設置 | 62.1 |
| 16 | 防災体制の充実 | 61.9 |
| 17 | 国道・県道など幹線道路の整備 | 61.3 |
| 18 | NPOなど市民活動の支援 | 59.8 |
| 19 | 地域資源を生かした観光振興 | 58.3 |
| 20 | 開かれた行政の推進 | 58.1 |
| 21 | 身近な生活道路の整備 | 57.9 |
| 22 | 行財政運営の効率化 | 55.4 |
| 23 | 歩道等の整備、充実 | 54.5 |
| 24 | 公共交通機関の充実(市営バス等) | 54.2 |
| 25 | 魅力ある商工業の振興 | 51.5 |

重要度順

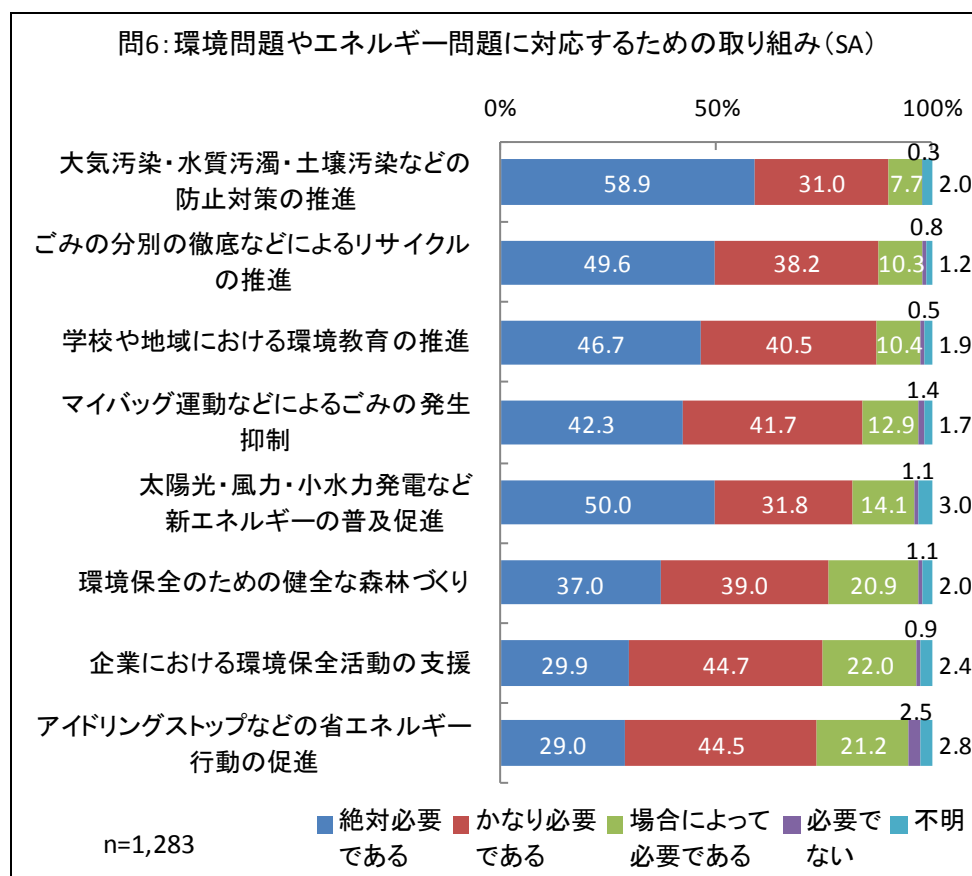
| | カテゴリ | 重要度 |
|----|--------------------|------|
| 1 | 保健・医療の充実 | 83.8 |
| 2 | 防災体制の充実 | 80.6 |
| 3 | 高齢者、障害者福祉の充実 | 80.5 |
| 4 | 防犯体制の充実 | 79.4 |
| 5 | 子育て環境の充実 | 79.0 |
| 6 | 水道の安定供給 | 78.9 |
| 7 | ごみ処理・環境美化の推進 | 78.6 |
| 8 | 義務教育の充実 | 77.2 |
| 9 | 下水道などの排水処理 | 75.4 |
| 10 | 行財政運営の効率化 | 74.8 |
| 11 | 歩道等の整備、充実 | 73.5 |
| 12 | 身近な生活道路の整備 | 73.1 |
| 13 | 開かれた行政の推進 | 71.8 |
| 14 | 国道・県道など幹線道路の整備 | 70.9 |
| 15 | 魅力ある商工業の振興 | 69.9 |
| 16 | 地域資源を生かした観光振興 | 69.8 |
| 17 | 地域特性のある農業・林業の振興 | 69.5 |
| 18 | 公共交通機関の充実(市営バス等) | 69.5 |
| 19 | 文化遺産の保存、地域文化の継承 | 64.0 |
| 20 | 案内・誘導表示などサインの設置 | 63.5 |
| 21 | 公園整備、景観の保全 | 63.2 |
| 22 | 生涯学習の推進、文化・スポーツの振興 | 62.5 |
| 23 | NPOなど市民活動の支援 | 61.2 |
| 24 | 公営住宅や宅地の整備 | 61.1 |
| 25 | 男女共同参画の推進 | 58.1 |

5. 分野ごとの各施策の必要性

設問ごとに、「絶対必要である」、「かなり必要である」、「場合によって必要である」、「必要でない」の4段階でたずねた。

① 環境問題やエネルギー問題に対応するための取り組み

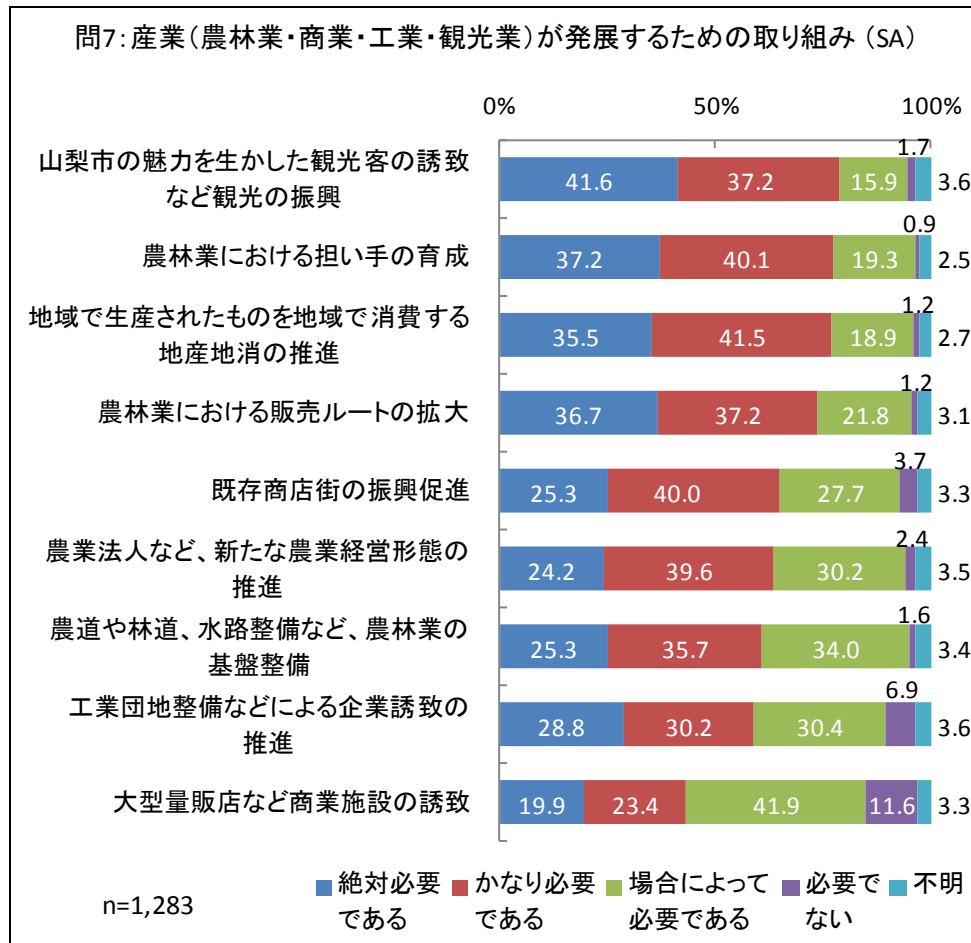
「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などの防止対策の推進」の89.9%であり、以下「ごみの分別の徹底などによるリサイクルの推進」(87.8%)、「学校や地域における環境教育の推進」(87.2%)の順となっている。



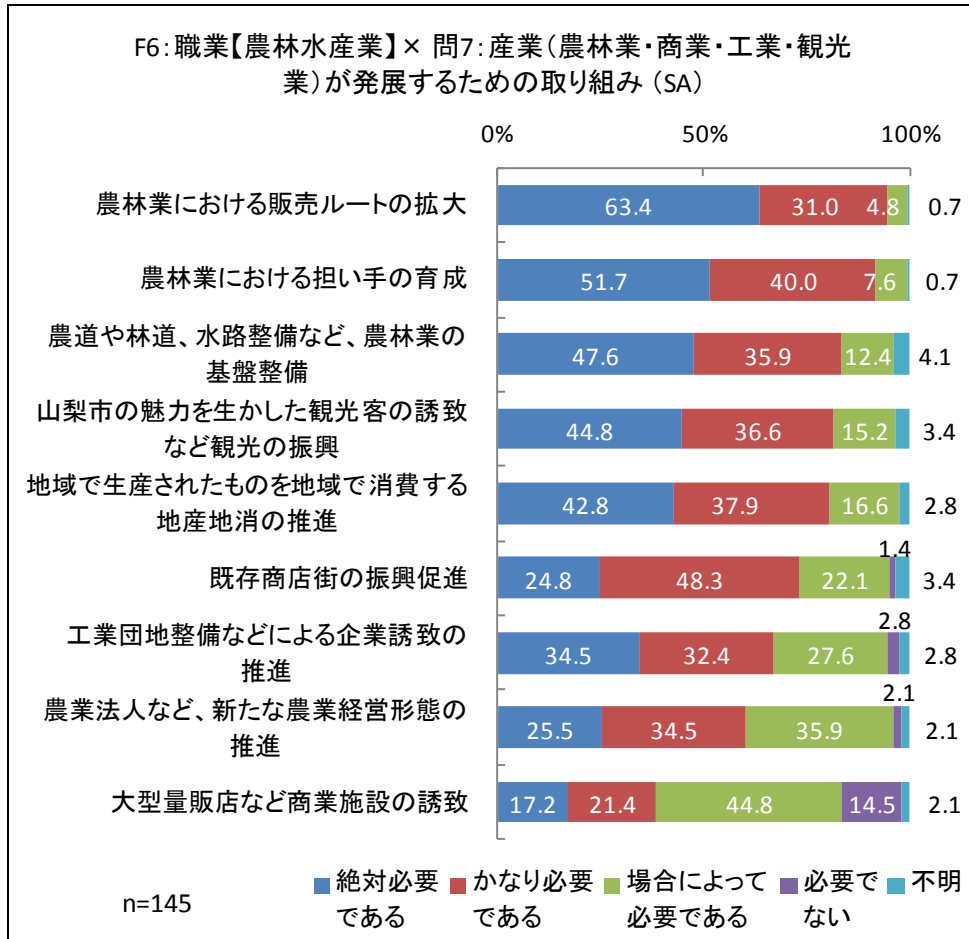
② 産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「山梨市の魅力を生かした観光客の誘致など観光の振興」の78.8%であり、以下「農林業における担い手の育成」（77.3%）、「地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の推進」（77.0%）の順となっている。

農業に次ぐ産業として観光業に対する市民の期待があらわれていると推察される。

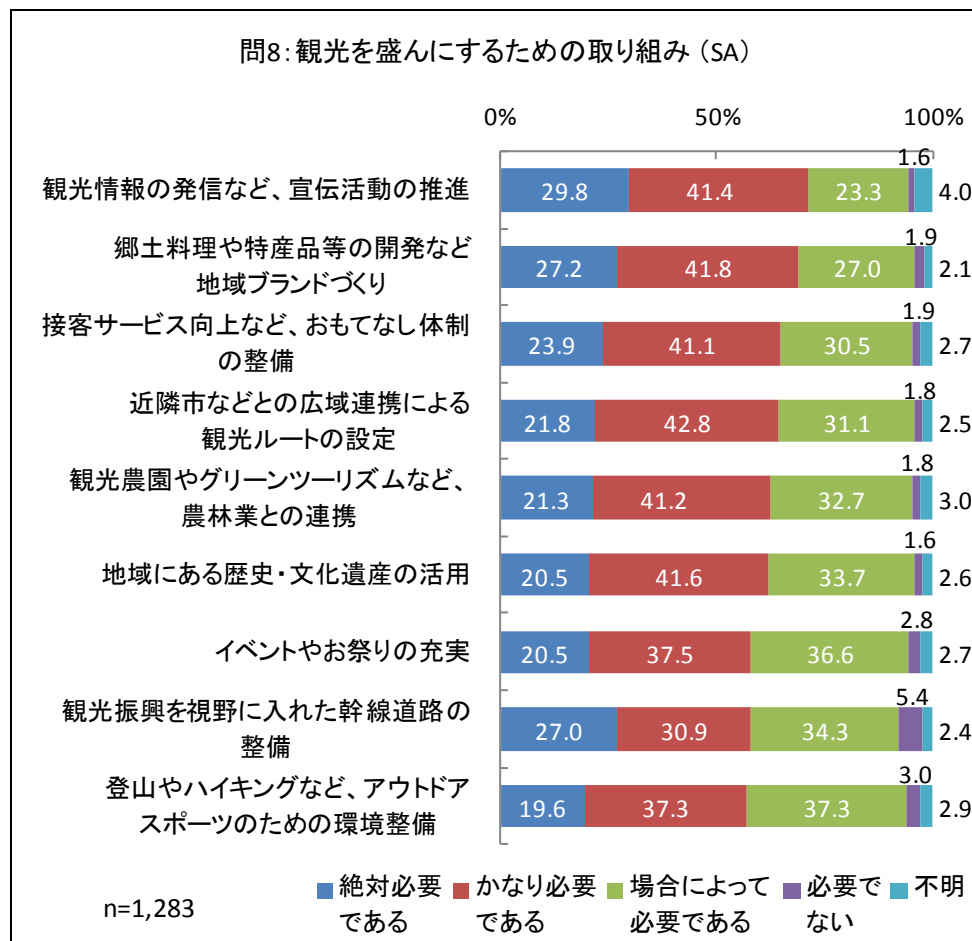


産業が発展するための取り組みについて、農林水産業を営む回答者に限定して集計すると、「絶対必要である」「かなり必要である」の合計が最も高いのは「農林業における販売ルート拡大」の94.4%となっている。



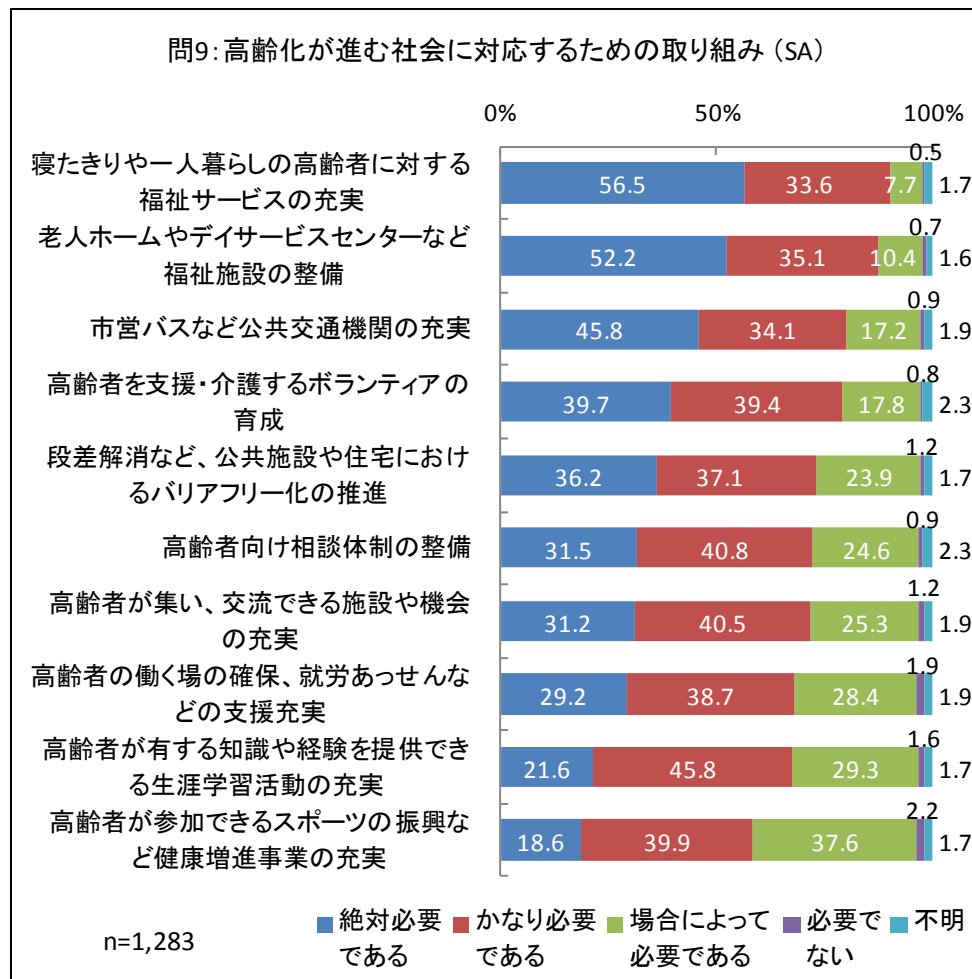
③ 観光を盛んにするための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「観光情報の発信など、宣伝活動の推進」の71.2%であり、以下「郷土料理や特産品等の開発など地域ブランドづくり」(69.0%)、「接客サービス向上など、おもてなし体制の整備」(65.0%)の順となっている。



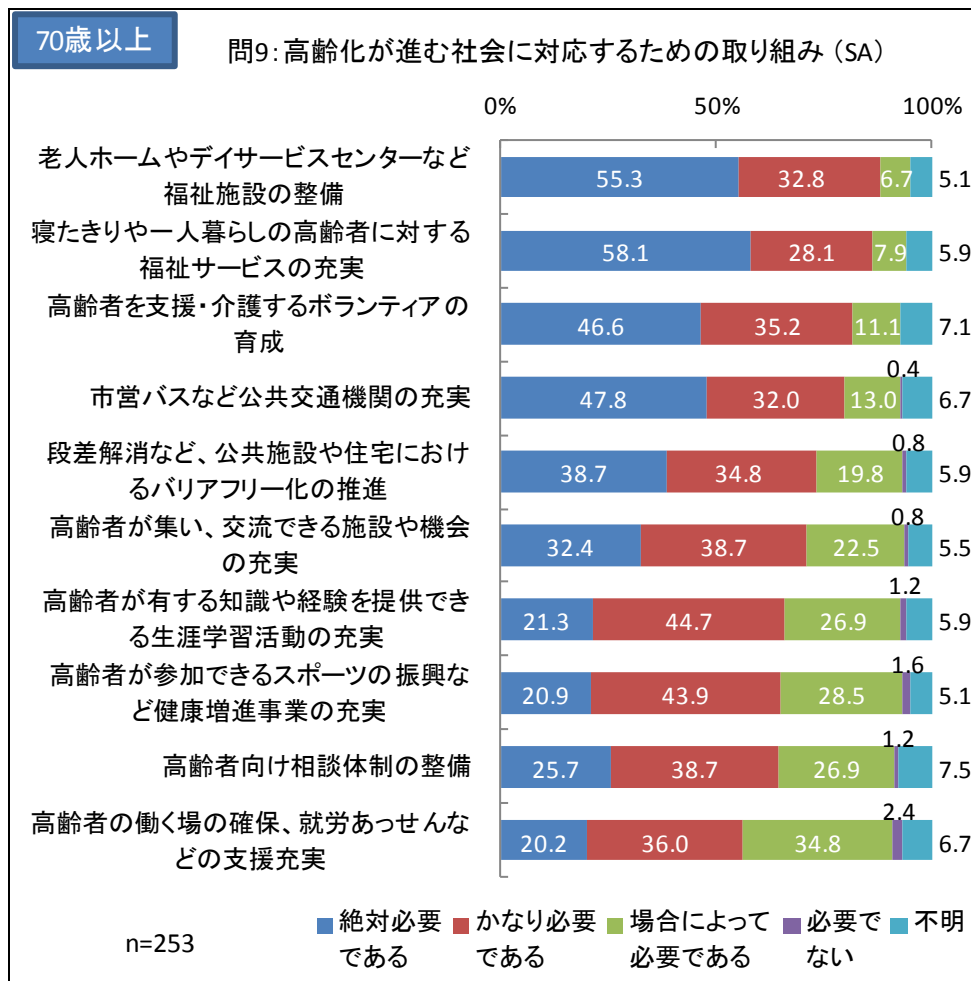
④ 高齢化が進む社会に対応するための取り組み

「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実」の90.1%であり、以下「老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備」(87.3%)、「市営バスなど公共交通機関の充実」(79.9%)の順となっている。



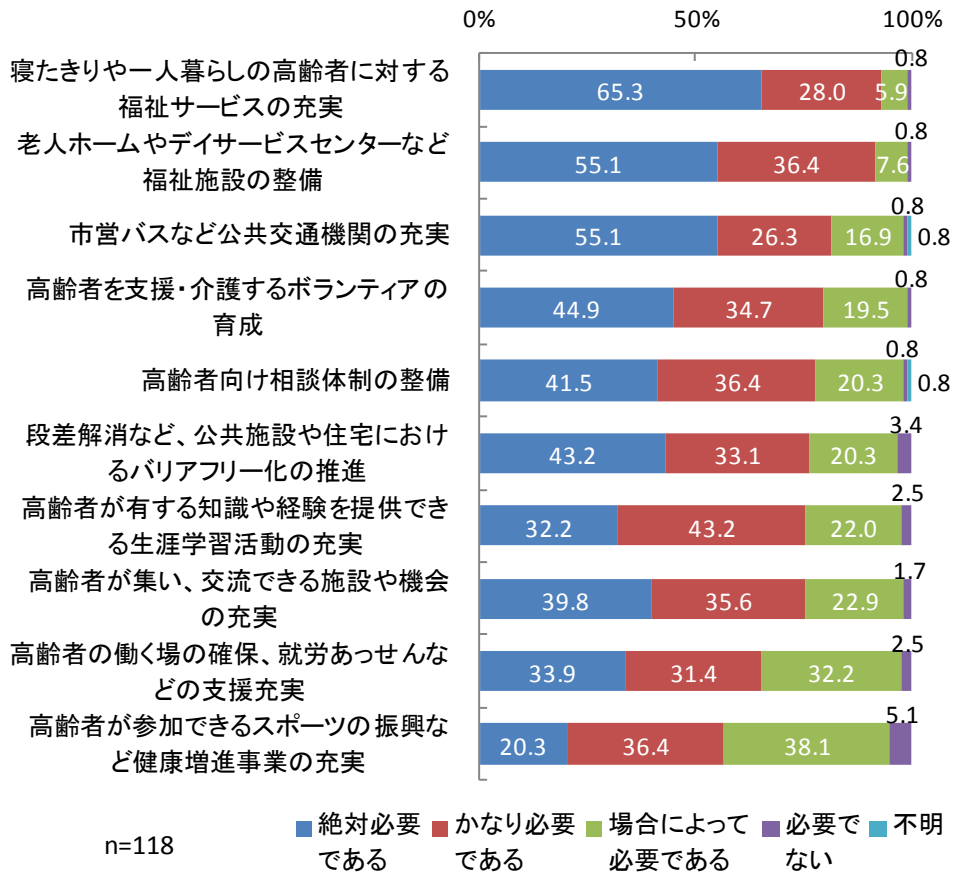
同じ質問を年代別（70 歳以上、20 歳代）で集計しても全体的に大きな違いはなく、上位 4 項目については順序こそ違うが同じ項目が占めている。

ただ「高齢者向け相談体制の整備」のみは、70 歳以上では 64.4%と下位項目だったが、20 歳代では 77.9%と中位に位置している。超高齢社会に対する不安の一端があらわれているのではないかと推察される。



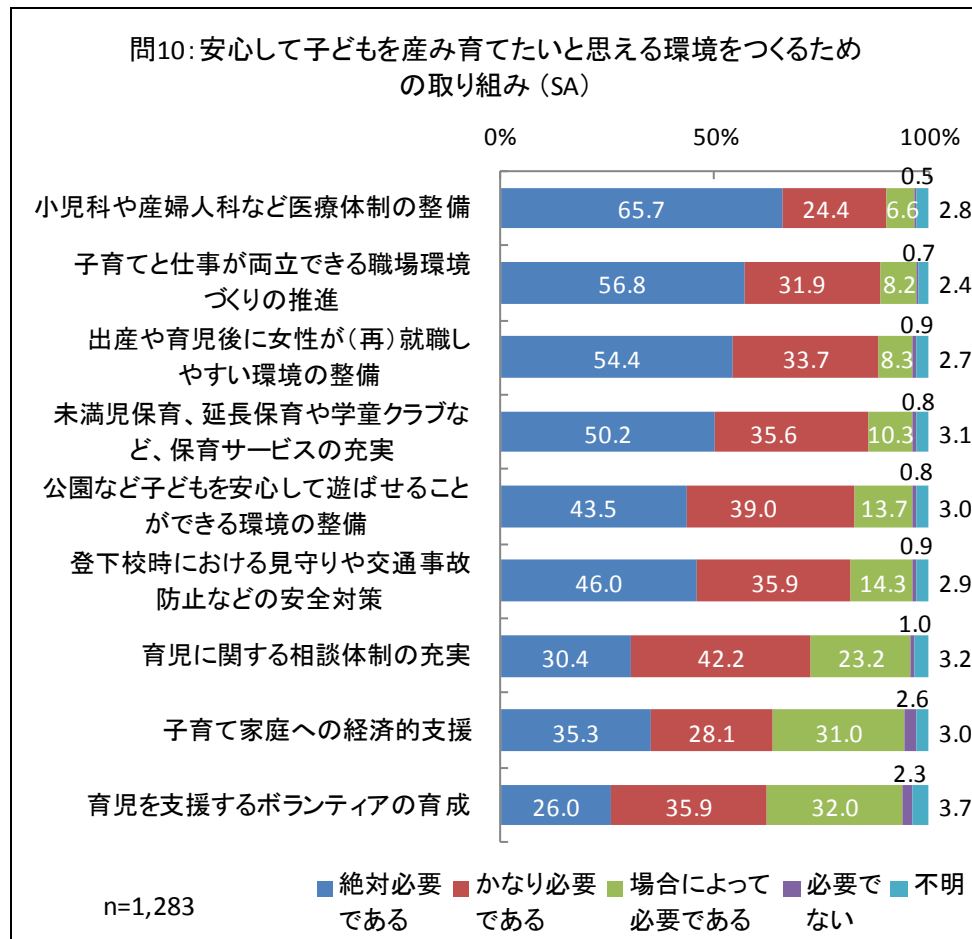
20歳代

問9: 高齢化が進む社会に対応するための取り組み (SA)



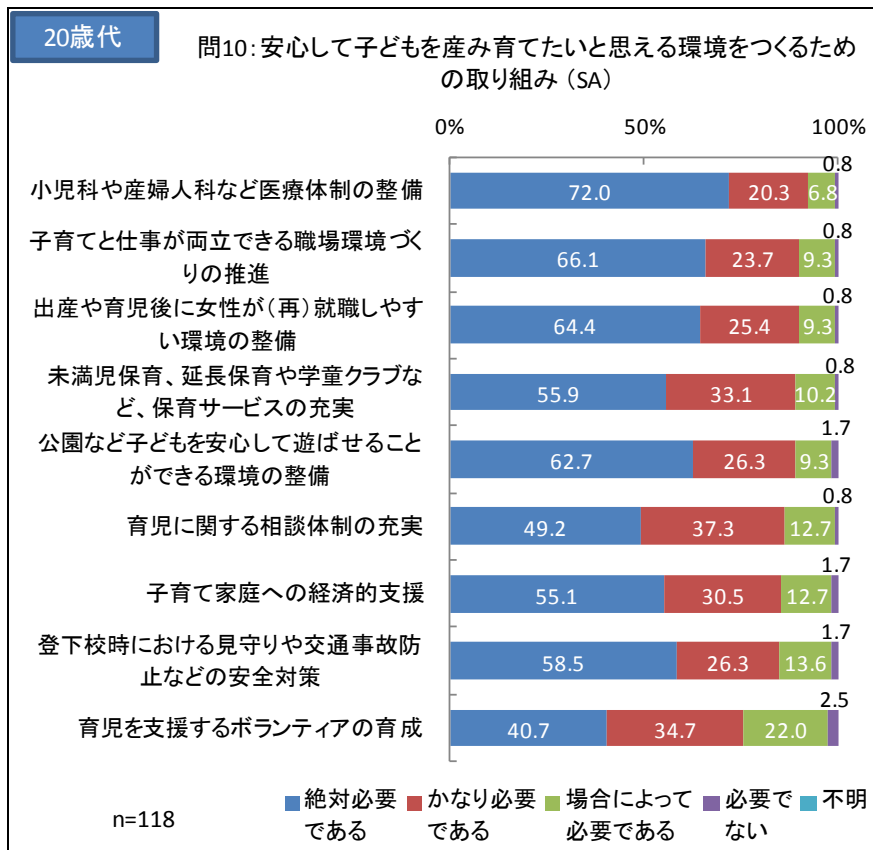
⑤ 安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるための取り組み

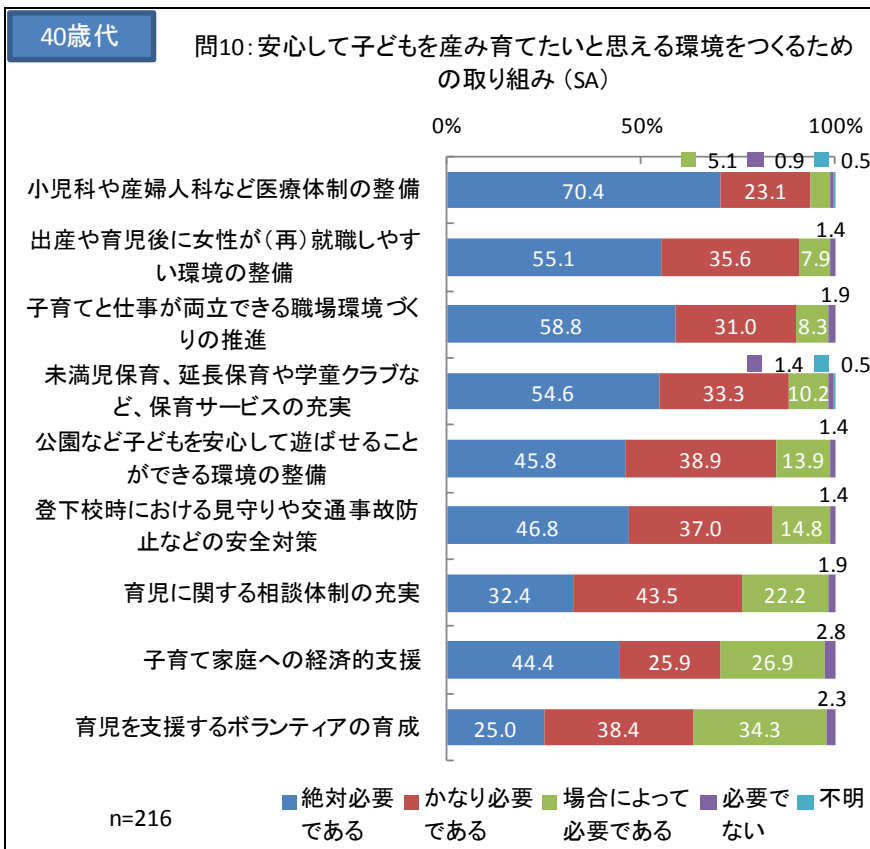
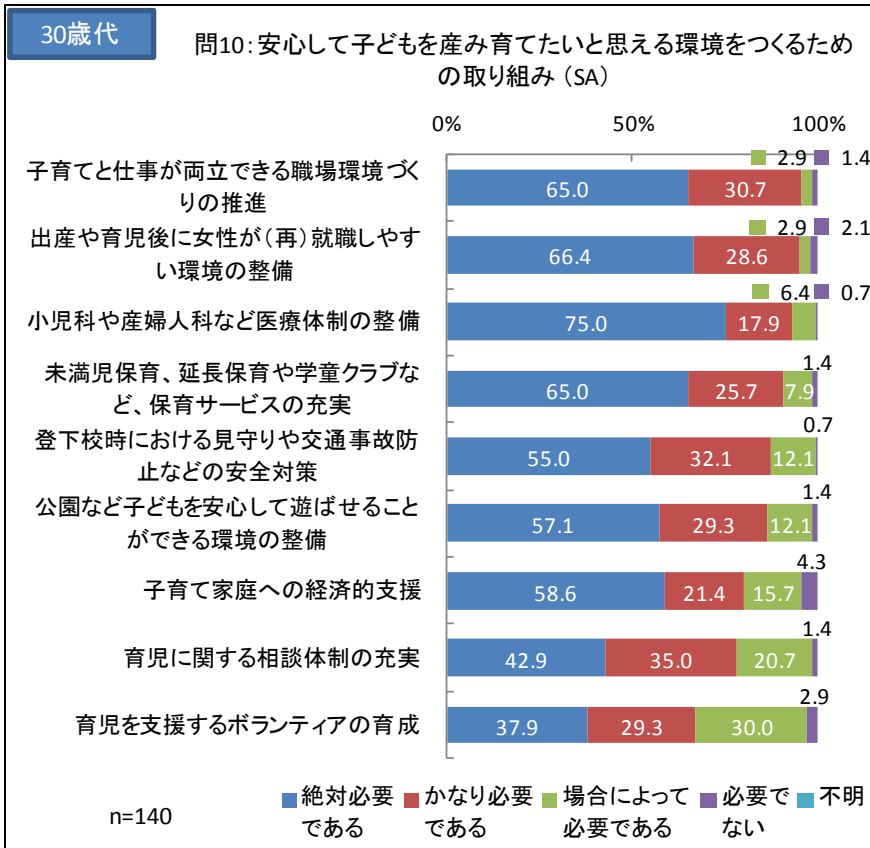
「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「小児科や産婦人科など医療体制の整備」(90.1%)であり、以下「子育てと仕事が両立できる職場環境づくりの推進」(88.7%)、「出産や育児後に女性が(再)就職しやすい環境の整備」(88.1%)の順となっている。



同じ質問を、20、30、40歳代に限定すると、上位4項目については順序こそ違いますが同じ項目が占めており高い関心が示されている。

なお、4項目いずれも90%を超える高い支持を集めているのは30歳代のみだった。

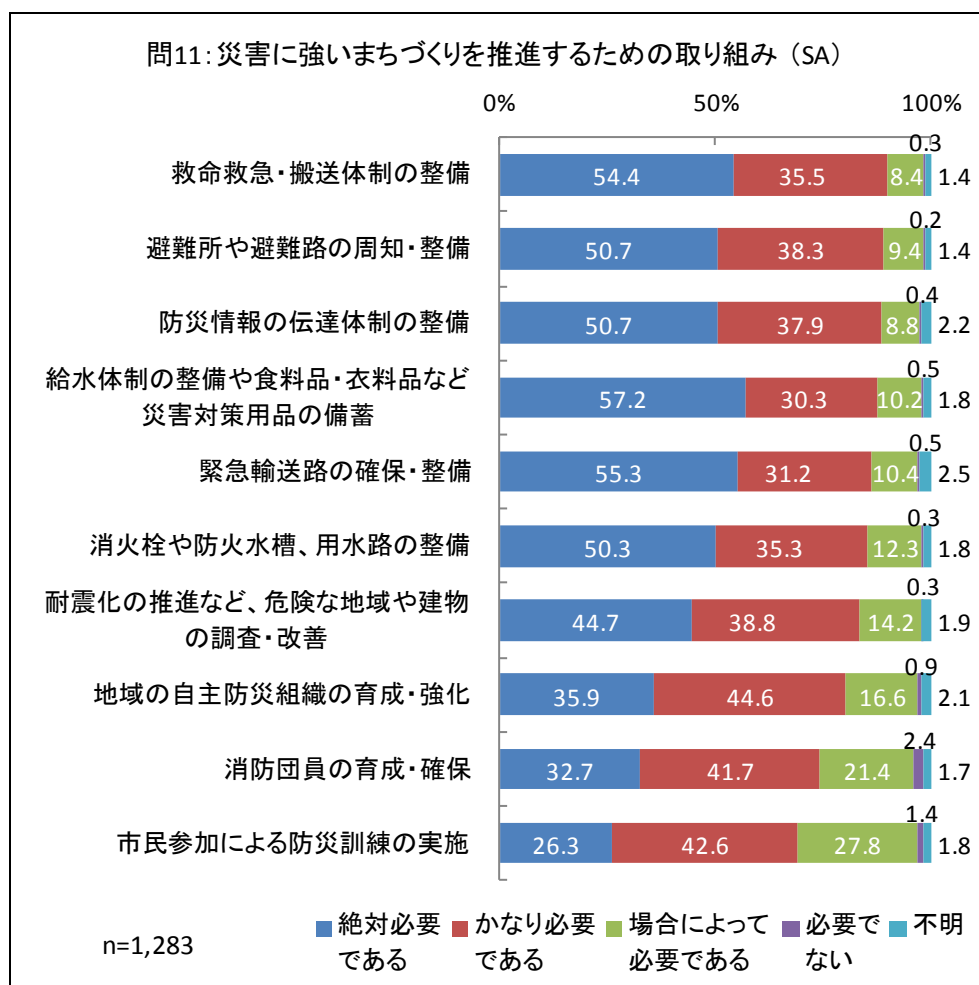




⑥ 災害に強いまちづくりを推進するための取り組み

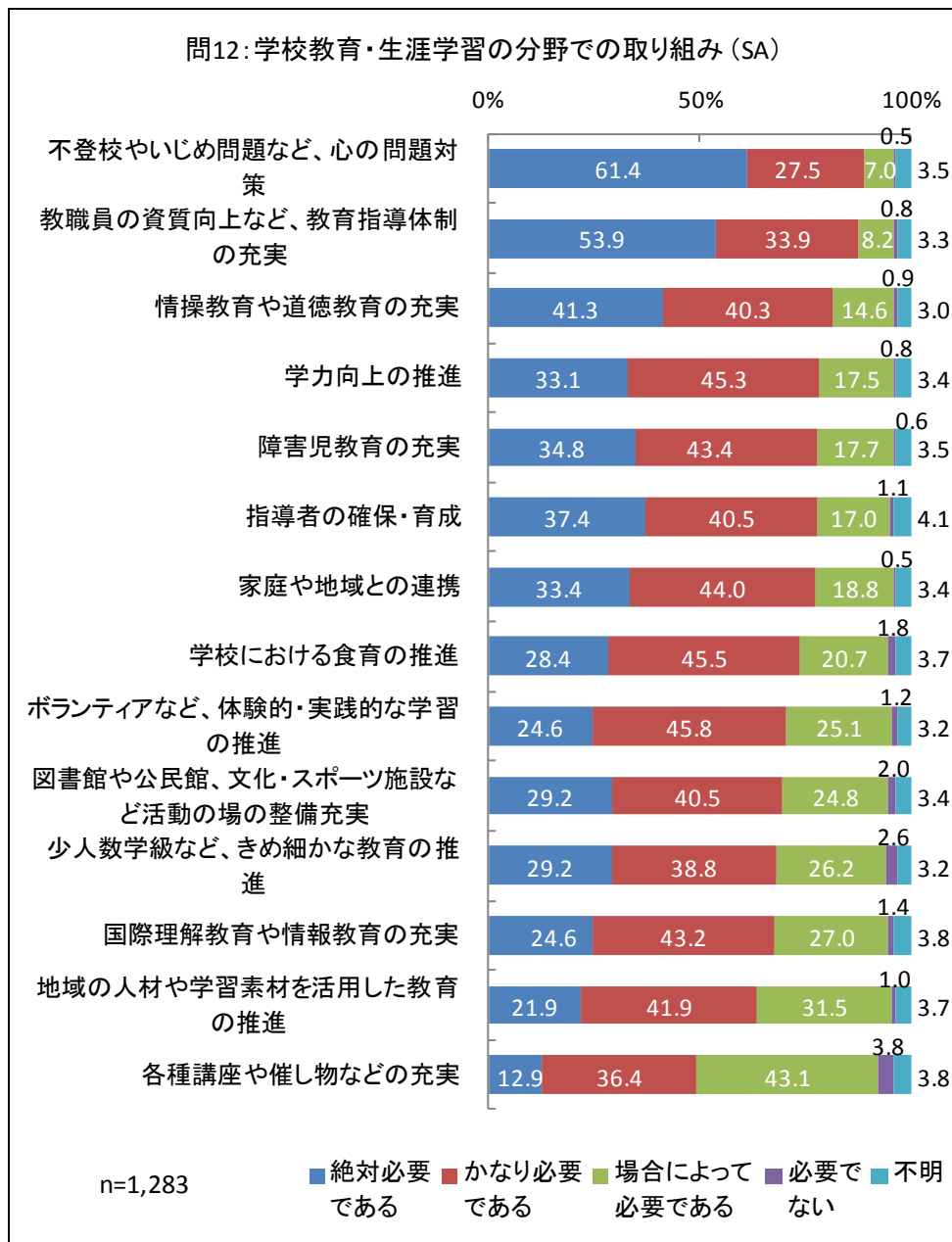
「絶対必要である」「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「救命救急・搬送体制の整備」の89.9%で、以下「避難所や避難路の周知・整備」(89.0%)、「防災情報の伝達体制の整備」(88.6%)の順となっている。

その一方で、「市民参加による防災訓練の実施」(68.9%)、「消防団員の育成・確保」(74.4%)、「地域の自主防災組織の育成・強化」(80.5%)など、市民自らが直接関わる施策の優先順位は低くなっている。



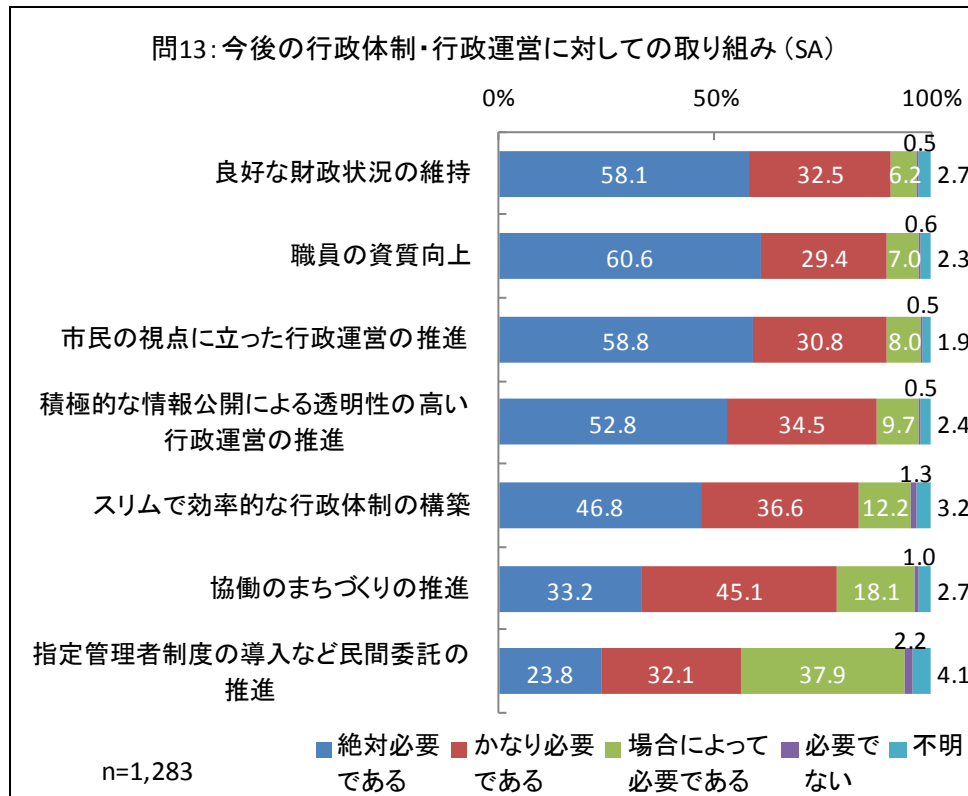
⑦ 学校教育・生涯学習分野での取り組み

「絶対必要である」及び「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「不登校やいじめ問題など、心の問題対策」の88.9%であり、以下「教職員の資質向上など、教育指導体制の充実」(87.8%)、「情操教育や道徳教育の充実」(81.6%)の順となっている。



⑧ 今後の行政体制・行政運営に対する取り組み

「絶対必要である」及び「かなり必要である」の合計値が最も高かったのは、「良好な財政状況の維持」の90.6%であり、以下「職員の資質向上」(90.0%)、「市民の視点に立った行政運営の推進」(89.6%)の順となっている。

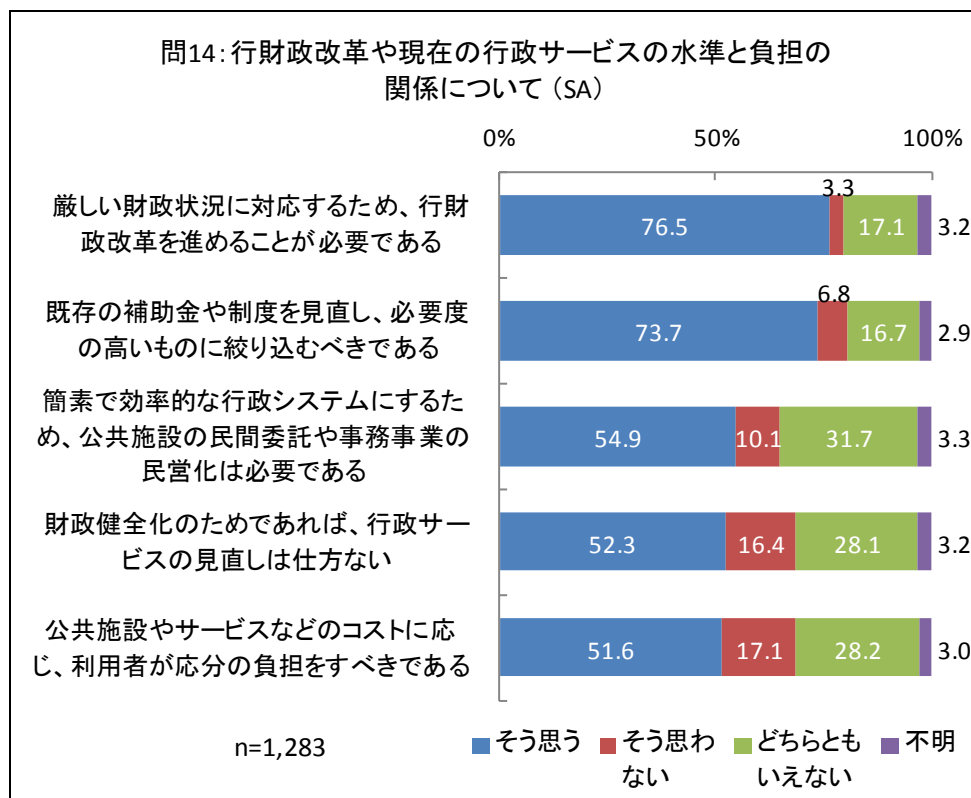


6. 市民と行政とのあり方について

① 行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係について

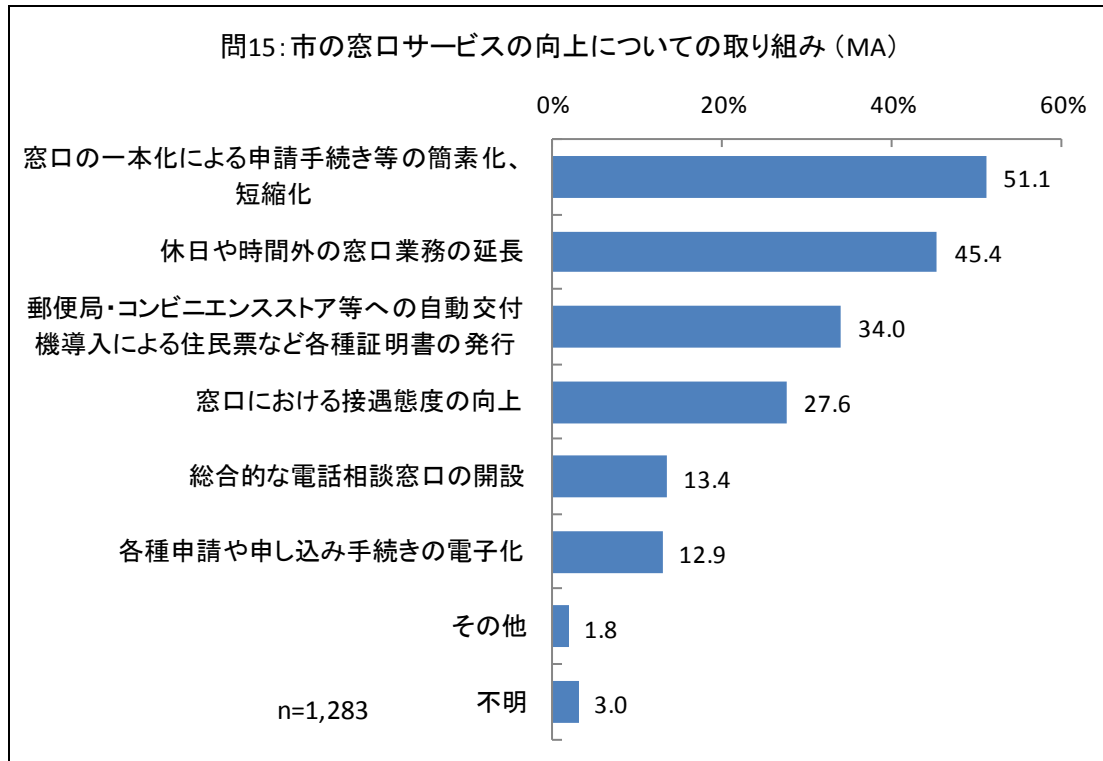
行財政改革や行政サービスの水準と負担の関係について支持が集まったのは「厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を進める必要がある」(76.5%)、と「既存の補助金や制度を見直し、必要度の高いものに絞り込むべきである」(73.7%)で、他の項目より高くなっている。

全ての項目において、過半数以上の支持が得られており、前ページと同様に「良好な財政状況の維持」に対する市民の期待があらわれていると考えられる。



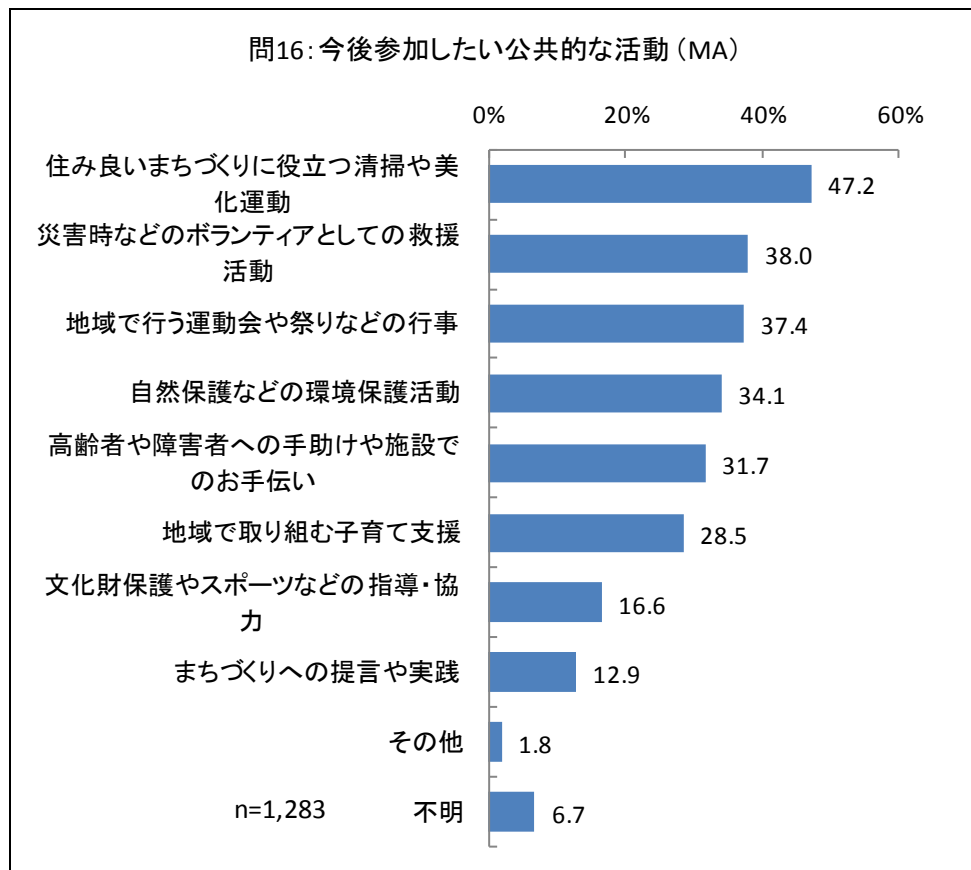
② 市の窓口サービスについて

市の窓口サービスの向上については、「窓口の一本化による申請手続き等の簡素化、短縮化」(51.1%)、「休日や時間外の窓口業務の延長」(45.4%)を望む割合が高く、市民の期待感が示された結果となっている。



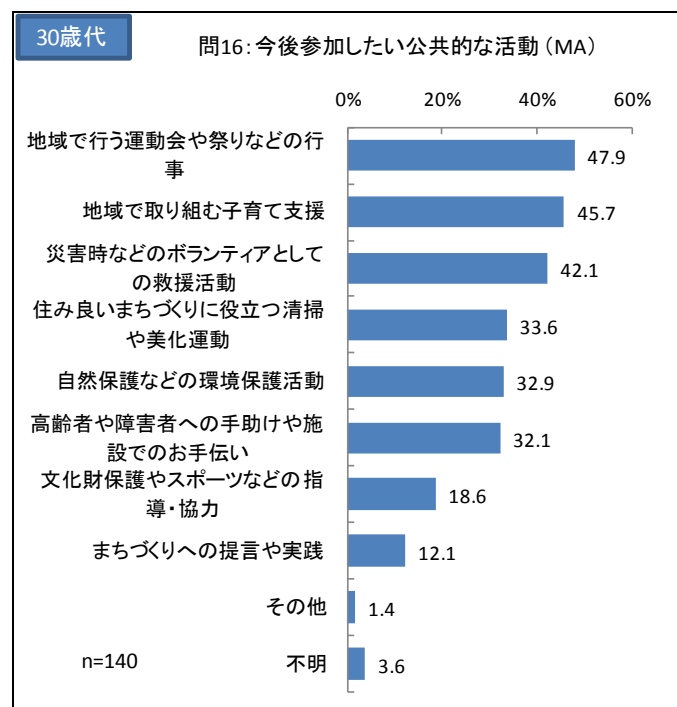
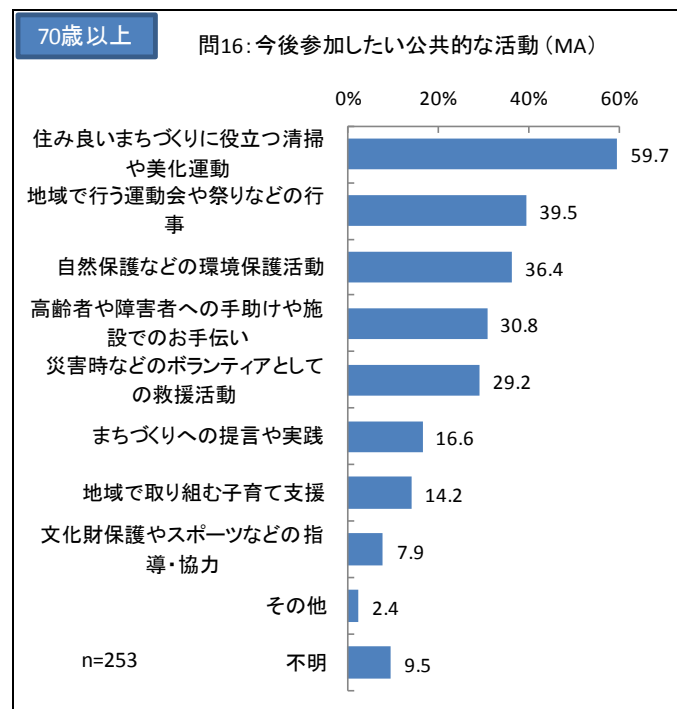
③ 今後参加したい公共的な活動

住民と行政との協働の可能性をみる本問いに対しては、「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」(47.2%)が最も高く、以下「災害時などのボランティアとしての救援活動」(38.0%)、「地域で行う運動会や祭りなどの行事」(37.4%)の順となっている。



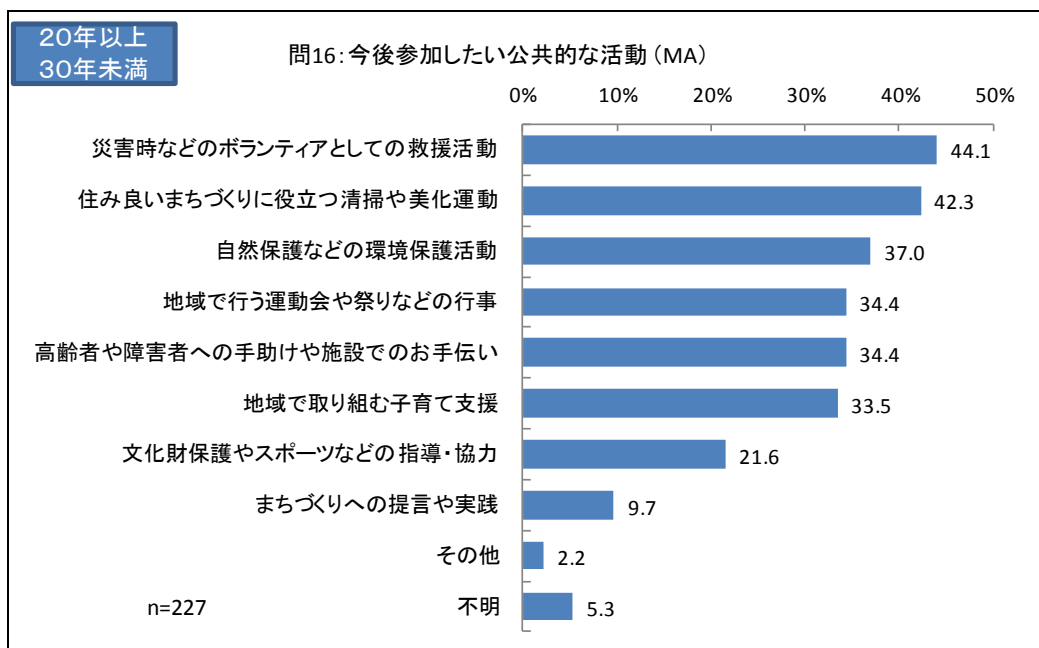
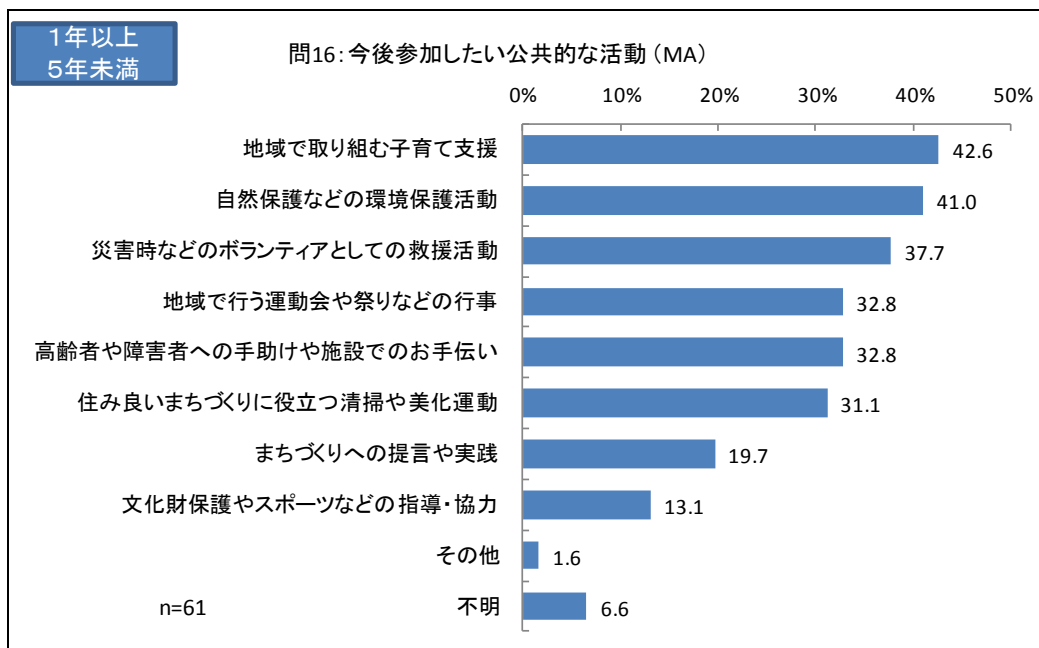
同じ質問を30歳代と70歳以上の年代別でみた場合、「住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動」については、30歳代では33.6%と低く、70歳以上で59.7%と高い数値を示している。

その一方で、「地域で取り組む子育て支援」に対しては、逆に、30歳代で45.7%、70歳以上では14.2%となっており、ライフステージにより対照的な結果となった。



また、居住年数（1年以上5年未満、20年以上30年未満の別）でみた場合、比較的居住歴が浅い1年以上5年未満の居住者層は「地域で取り組む子育て支援」（42.6%）がもっとも高くなっている。

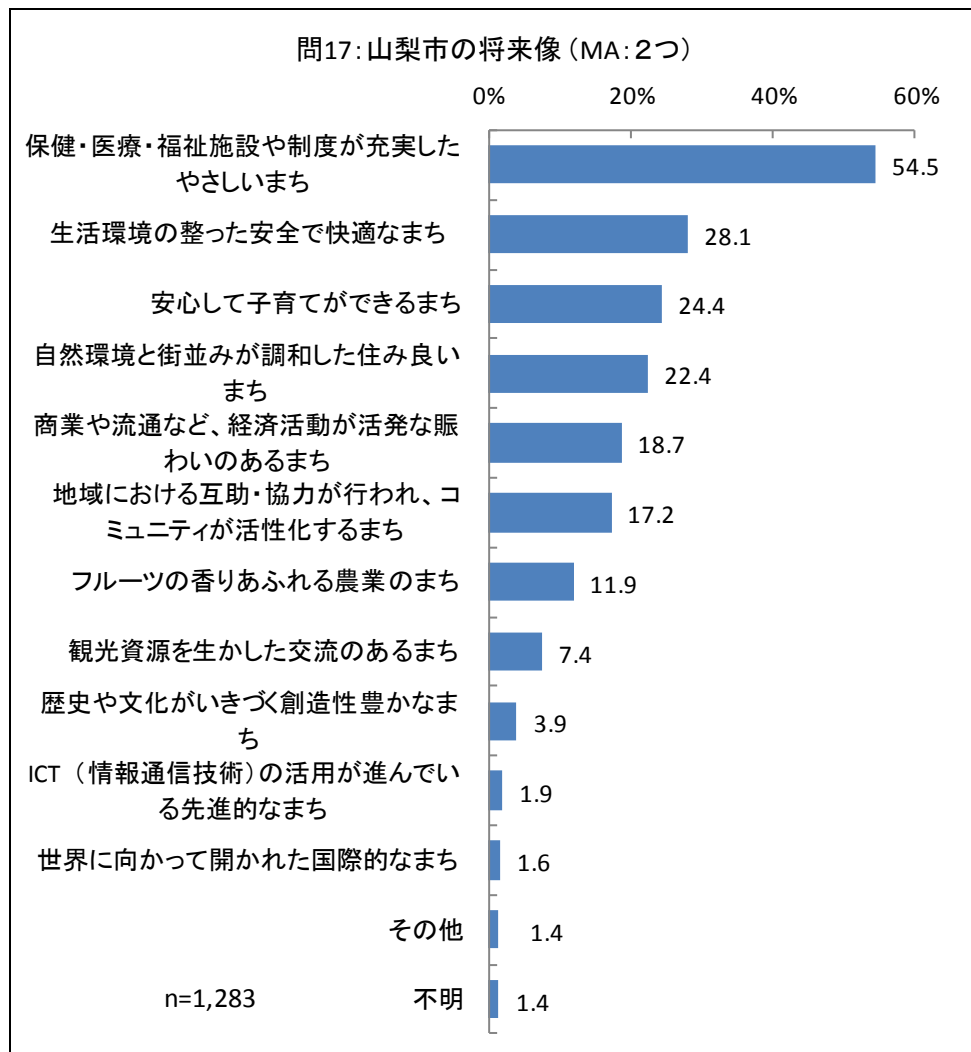
一方、居住歴がある程度長い20年以上30年未満の居住者層では、「災害時などのボランティアとしての救援活動」（44.1%）や「住みよいまちづくりに役立つ清掃や美化運動」（42.3%）をあげている。



7. 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについて

山梨市の将来像として、「10年後どのようなまちであって欲しいか」という問いに対して、「保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち」を望む声が過半数を超え（54.5%）、以下「生活環境の整った安全で快適なまち」（28.1%）、「安心して子育てができるまち」（24.4%）を望む声が高かった。

保健、医療、福祉、子育てといった生活密着型の政策を望んでおり、「やさしさ」や「安全・安心」がキーワードとなっていることが推察される。

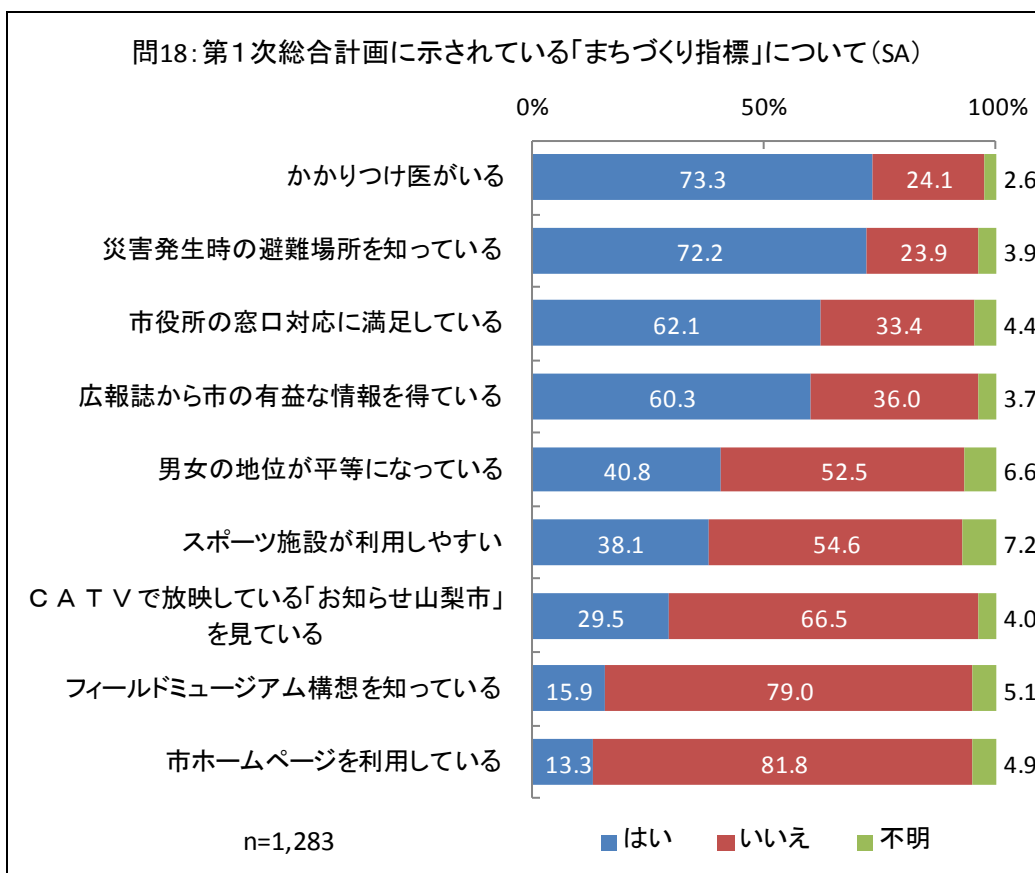


8. まちづくり指標について

総合計画に示されているまちづくり指標について、達成に貢献する意見が7割を超えたのは、「かかりつけ医がいる」（73.3%）、「災害発生時の避難場所を知っている」（72.2%）であった。

その一方で、「市ホームページを利用している」は13.3%に、「フィールドミュージアム構想を知っている」は15.9%にとどまっている。

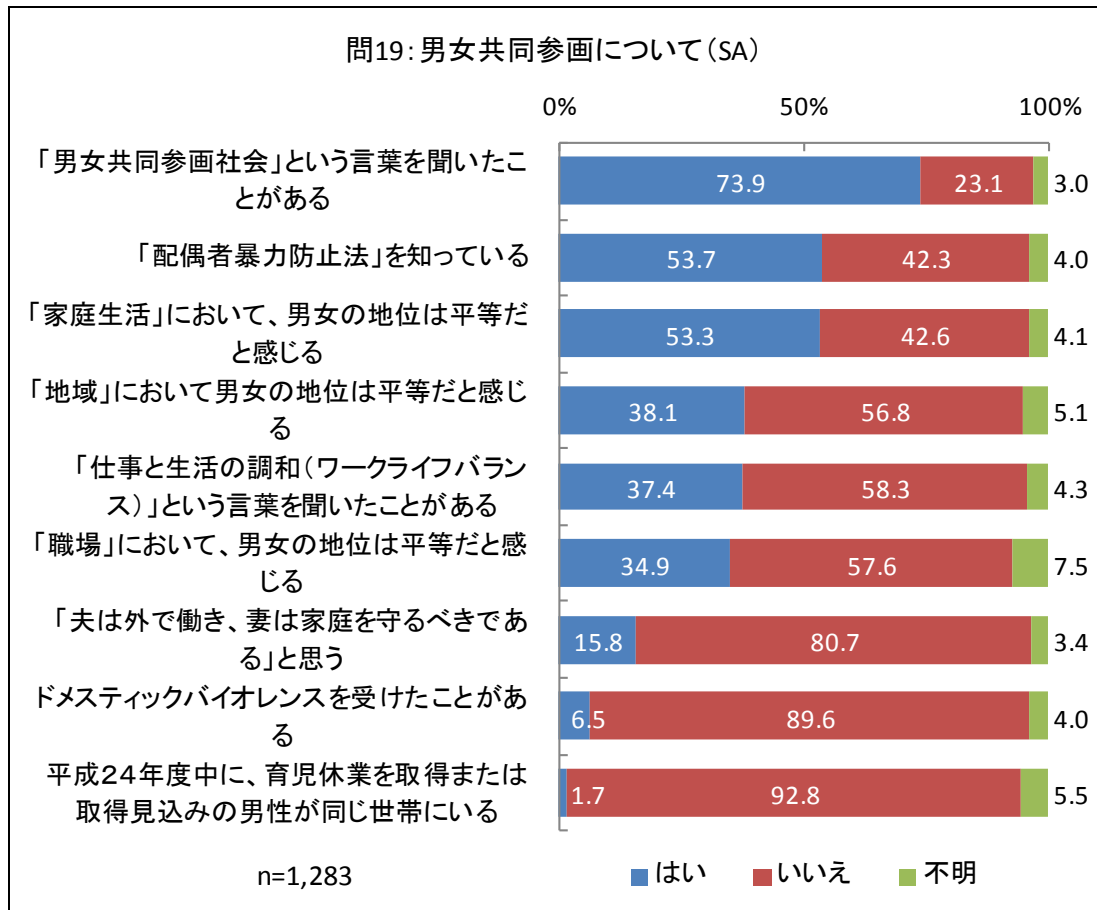
また、全9項目中過半数を超える意見が集まったのは半数以下の4項目だった。



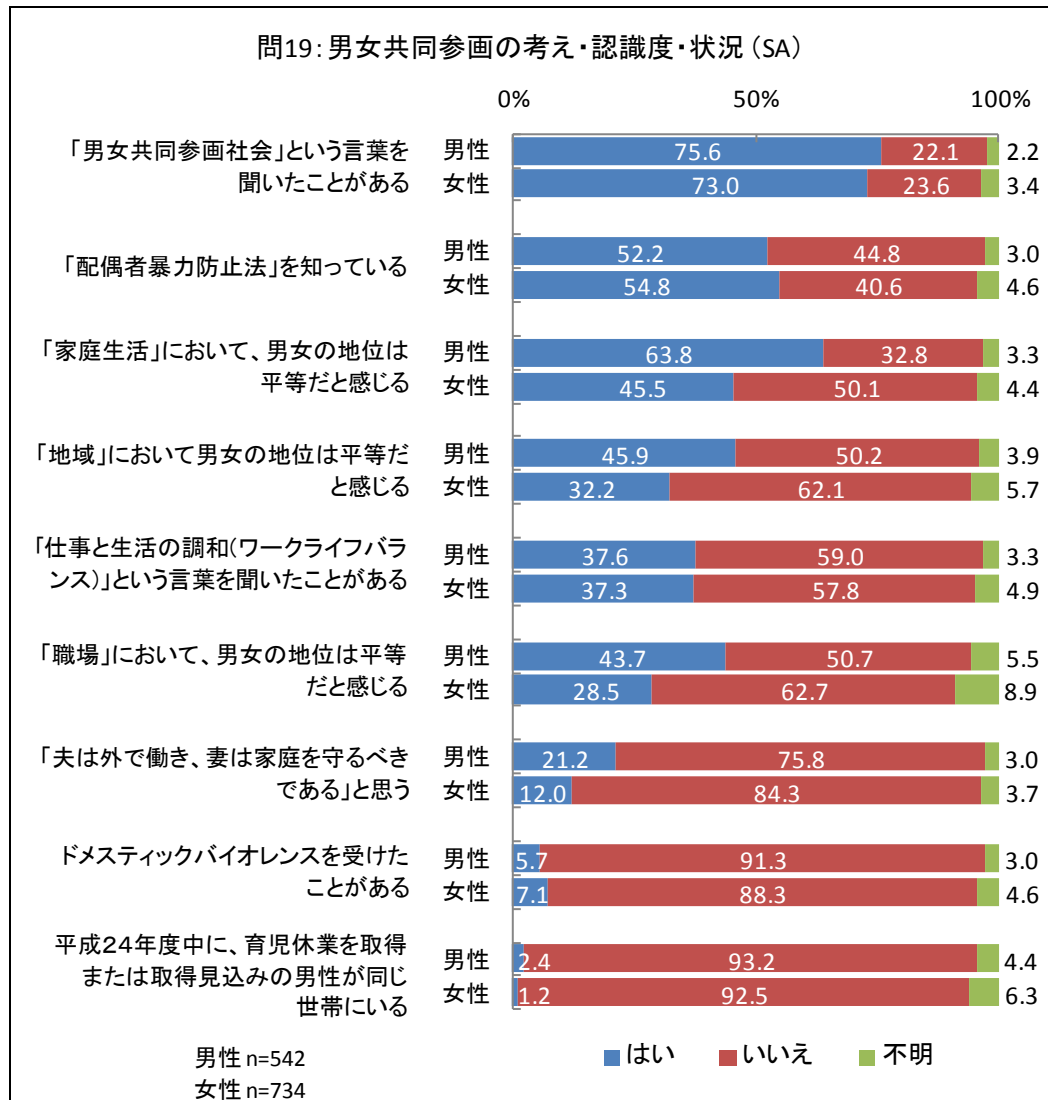
9. 男女共同参画について

「男女共同参画」という言葉の認知度は73.9%と高くなっている。

しかし、家庭や職場などにおける男女の平等感を質問したところ、「家庭生活」は約半数の53.3%が平等であると感じているが、「地域」(38.1%)及び「職場」(34.9%)は低い数値にとどまった。



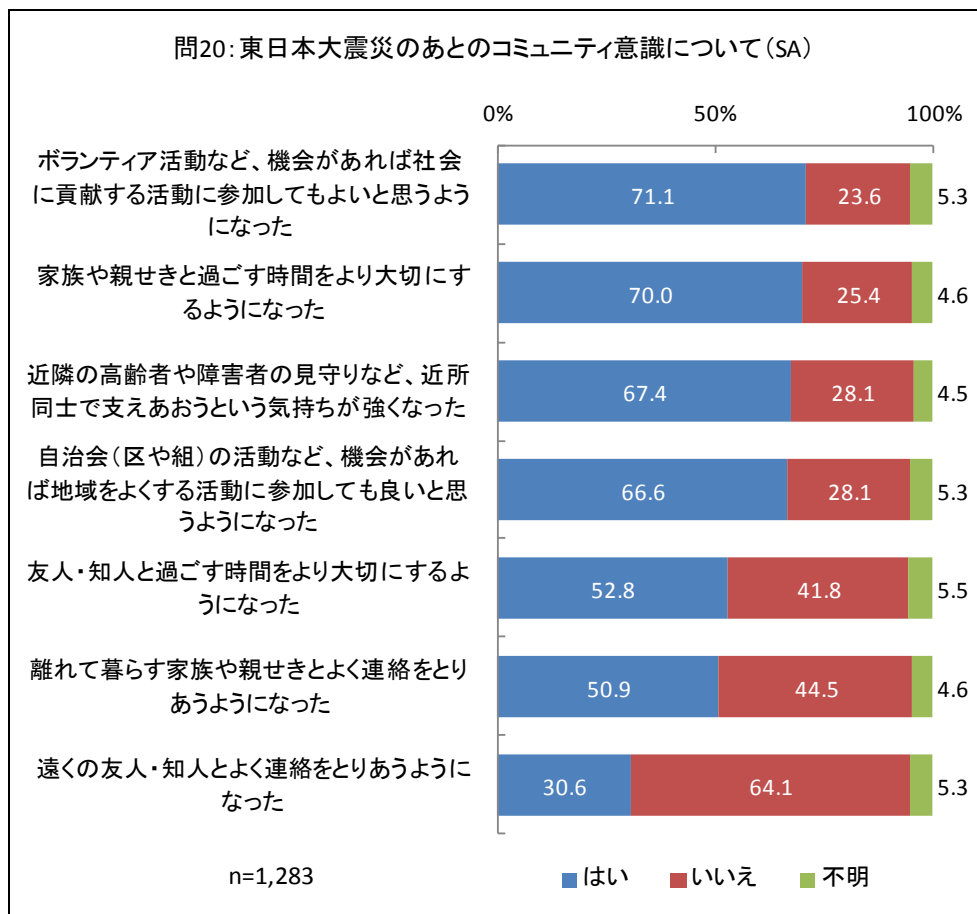
男女別に集計し意識の差をみると、「男女共同参画社会」という言葉の認識度こそ男性が高くなっているが、「家庭生活」、「地域」、「職場」とも地位が平等と感じている女性の割合はいずれも男性より低くなっている。



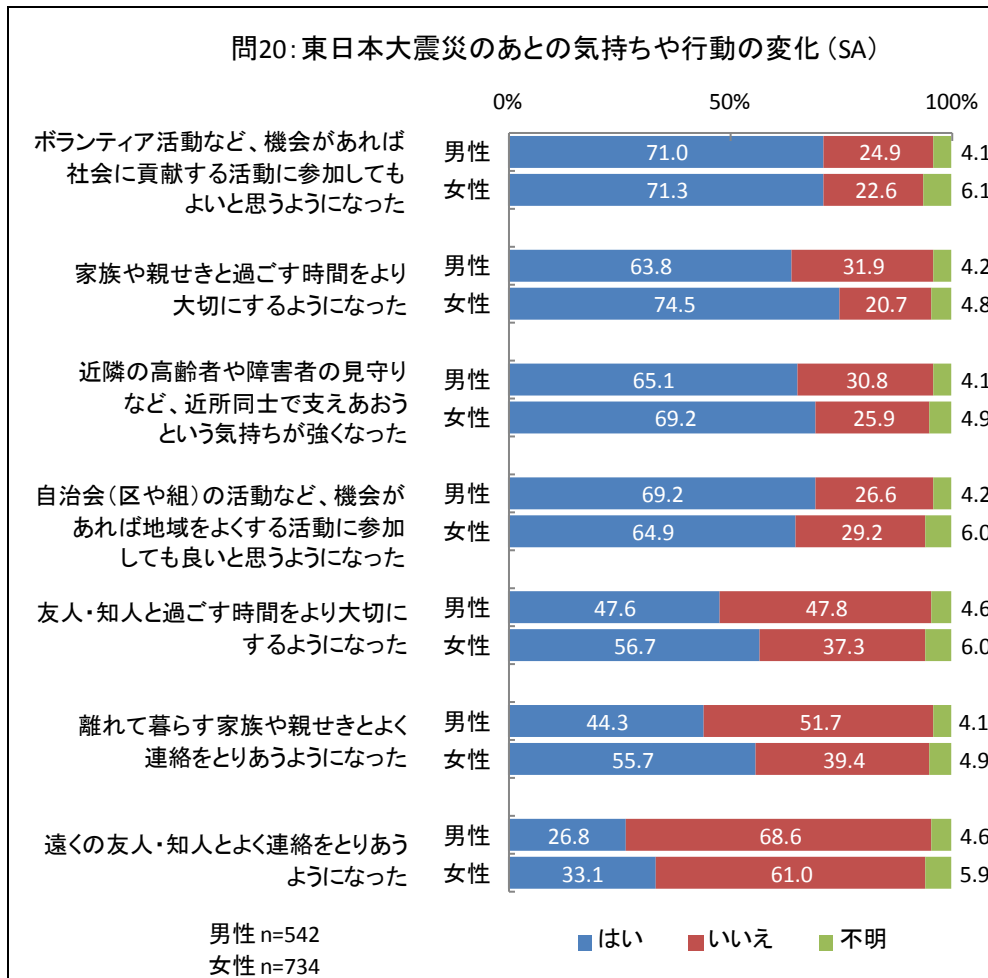
10. 東日本大震災のあとのコミュニティ意識について

東日本大震災を経験した後のコミュニティ意識の変化についてたずねた。変化があったと回答した市民が7割を超えたのは、「ボランティア活動など、機会があれば社会に貢献する活動に参加してもよいと思うようになった」(71.1%)と「家族や親せきと過ごす時間をより大切にするようになった」(70.0%)だった。

7項目中6項目において、半数以上の市民に意識の変化があったことがわかる。



男女別に集計し意識の差をみると、1つの項目を除き、女性の方が男性より意識の変化が多かったことがわかる。男女とも半数以上の市民に意識の変化があったのは、7項目中4項目となっている。



山梨市住民意向調査

平成 25 年 1 月 28 日

実施機関：山梨市役所（政策秘書課）

- ◎ ご多忙のところお手数をおかけしますが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。
- ◎ 今回、調査にご協力いただく方は、市内にお住まいの 20 歳以上の方から 2,000 人を無作為に選ばせていただきました。
- ◎ ご回答の内容は、統計的に処理し、個別の回答者や回答内容が明らかになることはありません。また、個別の調査結果を公表したり、他の目的に使用することは一切ございません。

《ご記入にあたってのお願い》

1. ご回答は、封筒の宛名の方ご本人が記入してください。ただし、本人が何らかの理由で記入出来ない場合は、ご家族の方が記入してください。
2. 本調査票には、当てはまる番号や回答欄に○印を付けるものと、具体的な内容を記述していただくものがあります。
設問にしたがって、鉛筆か、黒または青のボールペンではっきりと記入してください。
3. ご回答いただいた本調査票は、そのまま同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに、
平成 25 年 2 月 14 日（木）までに 投函してください。
※ 市役所政策秘書課又は牧丘・三富支所の総務担当窓口にも、直接提出いただくこともできます。
4. 本調査の趣旨や記入方法などについてご不明の点がございましたら、お手数ですが、下記までご連絡ください。

調査に関する問い合わせ先

山梨市役所 政策秘書課 政策形成担当（担当：古屋）

〒405-8501 山梨市小原西 843 電話 0553 - 22 - 1111（内線 2415）

■最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

すべての項目について、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

①あなたの性別は

- | | |
|------|------|
| 1. 男 | 2. 女 |
|------|------|

②あなたの年齢は（平成25年2月1日現在）

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20～29歳 | 2. 30～39歳 | 3. 40～49歳 |
| 4. 50～59歳 | 5. 60～69歳 | 6. 70歳以上 |

③あなたのお住まいは

- | | | | |
|----------|----------|----------|---------|
| 1. 加納岩地区 | 2. 日下部地区 | 3. 八幡地区 | 4. 山梨地区 |
| 5. 日川地区 | 6. 後屋敷地区 | 7. 岩手地区 | 8. 諏訪地区 |
| 9. 中牧地区 | 10. 西保地区 | 11. 三富地区 | |

④あなたは、山梨市内（旧3市町村を含めて）に住んで通算何年になりますか。

- | | | |
|---------------|---------------|--------------|
| 1. 1年未満 | 2. 1年以上5年未満 | 3. 5年以上10年未満 |
| 4. 10年以上20年未満 | 5. 20年以上30年未満 | 6. 30年以上 |

⑤あなたの家族構成は

- | | | | |
|-----------|---------|-------------|---------------|
| 1. 一人暮らし | 2. 夫婦のみ | 3. 二世帯(親・子) | 4. 三世帯(親・子・孫) |
| 5. その他() | | | |

⑥あなたの職業は（兼業の方は主な職業についてお答えください。）

- | | | | |
|------------------------|------------------------|-------------|-------|
| 1. 自営業(農林水産業) | 2. 自営業(商工業・サービス業・建設業等) | | |
| 3. 自由業(医師・弁護士・税理士・僧侶等) | 4. 会社員 | 5. 公務員・団体職員 | |
| 6. パート・アルバイト・内職 | 7. 学生 | 8. 専業主婦・主夫 | 9. 無職 |
| 10. その他(具体的に:) | | | |

⑦「専業主婦・主夫」「無職」以外の方におたずねします。あなたの職場や通学先は

- | | | | | |
|--------------------|--------------------|----------|-----------|---------|
| 1. 山梨市内 | 2. 甲府市 | 3. 笛吹市 | 4. 甲州市 | 5. 甲斐市 |
| 6. 大月市 | 7. 都留市 | 8. 韮崎市 | 9. 南アルプス市 | 10. 中央市 |
| 11. 富士吉田市 | 12. 北杜市 | 13. 上野原市 | 14. 昭和町 | |
| 15. その他の山梨県内(国中地域) | 16. その他の山梨県内(郡内地域) | | | |
| 17. その他(具体的に:) | | | | |

■ 山梨市の魅力や、住みやすさについておたずねします。

問1 あなたが感じている“山梨市の魅力”にはどのようなものがありますか。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

| | | |
|---------------------------|----|-----|
| 1. 山岳や丘陵、河川など美しい景観に恵まれている | はい | いいえ |
| 2. 身近な街並みや住環境がきれいである | はい | いいえ |
| 3. 住民同士の交流や助け合いが盛んである | はい | いいえ |
| 4. 歴史・文化の資源が豊富にある | はい | いいえ |
| 5. 果樹栽培をはじめとする農産物に恵まれている | はい | いいえ |
| 6. 自動車交通の便が良い | はい | いいえ |
| 7. バスや鉄道などの公共交通機関の便が良い | はい | いいえ |
| 8. 災害への備えに不安がない | はい | いいえ |
| 9. 日常の買物などの便が良い | はい | いいえ |
| 10. スポーツ活動が盛んである | はい | いいえ |
| 11. 公園などの余暇施設が充実している | はい | いいえ |
| 12. 高度な技術を持つ企業が立地している | はい | いいえ |
| 13. 道路や上下水道などの社会基盤が整っている | はい | いいえ |
| 14. 伝統芸能や祭事が受け継がれている | はい | いいえ |
| 15. 学校教育や生涯学習などの環境が整っている | はい | いいえ |

問2 あなたは、山梨市の“住みやすさ”についてどう思いますか。あてはまる番号を一つ選び○印で囲んでください。

| |
|--|
| 1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらかといえば住みにくい 4. 住みにくい |
|--|

問3 問2で回答していただいた「山梨市の住みやすさ／住みにくさ」の理由について、おたずねします。

すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

| | | |
|------------------------|----|-----|
| 1. 住宅や土地の価格・広さに満足している | はい | いいえ |
| 2. 通勤・通学が便利 | はい | いいえ |
| 3. 自然災害への備え(防災)が十分 | はい | いいえ |
| 4. 騒音が少ないなど生活環境に満足している | はい | いいえ |
| 5. 医療・福祉環境に満足している | はい | いいえ |
| 6. 保育・子育て・教育環境に満足している | はい | いいえ |
| 7. 近所付き合いなどが楽しい | はい | いいえ |
| 8. 買い物が便利 | はい | いいえ |
| 9. 公共交通機関が便利 | はい | いいえ |
| 10. 治安が良く防犯対策に満足している | はい | いいえ |
| 11. 働く場所がある | はい | いいえ |

問4 あなたは、山梨市に対する愛着を感じていますか。あてはまる番号を一つ選び○印で囲んでください。

| |
|--|
| 1. とても感じる 2. やや感じる 3. あまり感じない 4. まったく感じない |
|--|

■ 山梨市の主な施策に対する満足度、今後の施策の重要度についておたずねします。

問5 市の施策のうち次の25項目について、あなたが感じている満足度、今後の重要度についておたずねします。すべての項目ごとに、満足度と重要度それぞれ一つずつ〇印を付けてください。

| 項目 | 満足度 | | | | 重要度 | | | |
|------------------------|--------|----------|---------|-------|-----------|----------|---------|-----------|
| | 満足している | やや満足している | やや不満である | 不満である | きわめて重要である | かなり重要である | まあ重要である | あまり重要ではない |
| 1. 公園整備、景観の保全 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 2. 文化遺産の保存、地域文化の継承 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 3. ごみ処理・環境美化の推進 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 4. 保健・医療の充実 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 5. 高齢者、障害者福祉の充実 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 6. 子育て環境の充実 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 7. 男女共同参画の推進 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 8. 地域特性のある農業・林業の振興 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 9. 魅力ある商工業の振興 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 10. 地域資源を生かした観光振興 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 11. 義務教育の充実 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 12. 生涯学習の推進、文化・スポーツの振興 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 13. 公共交通機関の充実(市営バス等) | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 14. 国道・県道など幹線道路の整備 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 15. 身近な生活道路の整備 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 16. 歩道などの整備、充実 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 17. 案内・誘導表示などサインの設置 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 18. 水道の安定供給 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 19. 下水道などの排水処理 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 20. 公営住宅や宅地の整備 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 21. 防災体制の充実 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 22. 防犯体制の充実 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 23. 開かれた行政の推進 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 24. 行財政運営の効率化 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |
| 25. NPOなど市民活動の支援 | イ | ロ | ハ | ニ | A | B | C | D |

■ 次に、山梨市の具体的取り組みについて、あなたのお考えをおたずねします。

問6 あなたは、環境問題やエネルギー問題に対応するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|------------------------------|---------|----------|--------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によっては必要である | 必要でない |
| 1. 環境保全のための健全な森林づくり | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. マイバッグ運動などによるごみの発生抑制 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. ごみの分別の徹底などによるリサイクルの推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. アイドリングストップなどの省エネルギー行動の促進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. 企業における環境保全活動の支援 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 学校や地域における環境教育の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 大気汚染・水質汚濁・土壌汚染などの防止対策の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. 太陽光・風力・小水力発電など新エネルギーの普及促進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 9. その他(具体的にご記入ください: |) | | | |

問7 あなたは、山梨市の産業（農林業・商業・工業・観光業）が発展するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|------------------------------|---------|----------|-------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によって必要である | 必要でない |
| 1. 農道や林道、水路整備など、農林業の基盤整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. 農林業における担い手の育成 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. 農林業における販売ルート拡大 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. 地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. 農業法人など、新たな農業経営形態の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 既存商店街の振興促進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 大型量販店など商業施設の誘致 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. 工業団地整備などによる企業誘致の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 9. 山梨市の魅力を生かした観光客の誘致など観光の振興 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 10. その他(具体的にご記入ください:) | | | | |

問8 あなたは、山梨市の観光を盛んにするため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|---------------------------------|---------|----------|-------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によって必要である | 必要でない |
| 1. 登山やハイキングなど、アウトドアスポーツのための環境整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. 観光農園やグリーンツーリズムなど、農林業との連携 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. イベントやお祭りの充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. 地域にある歴史・文化遺産の活用 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. 近隣市などとの広域連携による観光ルートの設定 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 郷土料理や特産品等の開発など地域ブランドづくり | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 接客サービス向上など、おもてなし体制の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. 観光振興を視野に入れた幹線道路の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 9. 観光情報の発信など、宣伝活動の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 10. その他(具体的にご記入ください:) | | | | |

問9 あなたは、高齢化が進む社会に対応するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|---------------------------------|---------|----------|-------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によって必要である | 必要でない |
| 1. 高齢者が参加できるスポーツの振興など健康増進事業の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. 高齢者が有する知識や経験を提供できる生涯学習活動の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. 高齢者の働く場の確保、就労あっせんなどの支援充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. 高齢者向け相談体制の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. 寝たきりや一人暮らしの高齢者に対する福祉サービスの充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 老人ホームやデイサービスセンターなど福祉施設の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 市営バスなど公共交通機関の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. 高齢者が集い、交流できる施設や機会の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 9. 段差解消など、公共施設や住宅におけるバリアフリー化の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 10. 高齢者を支援・介護するボランティアの育成 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 11. その他(具体的にご記入ください: _____) | | | | |

問10 あなたは、安心して子どもを産み育てたいと思える環境をつくるため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|---------------------------------|---------|----------|-------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によって必要である | 必要でない |
| 1. 子育てと仕事が両立できる職場環境づくりの推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. 出産や育児後に女性が(再)就職しやすい環境の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. 未満児保育、延長保育や学童クラブなど、保育サービスの充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. 小児科や産婦人科など医療体制の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. 公園など子どもを安心して遊ばせることができる環境の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 登下校時における見守りや交通事故防止などの安全対策 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 子育て家庭への経済的支援 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. 育児に関する相談体制の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 9. 育児を支援するボランティアの育成 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 10. その他(具体的にご記入ください: _____) | | | | |

問 1 1 あなたは、災害に強いまちづくりを推進するため、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|-------------------------------|---------|----------|-------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によって必要である | 必要でない |
| 1. 地域の自主防災組織の育成・強化 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. 避難所や避難路の周知・整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. 耐震化の推進など、危険な地域や建物の調査・改善 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. 防災情報の伝達体制の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. 給水体制の整備や食料品・衣料品など災害対策用品の備蓄 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 消火栓や防火水槽、用水路の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 市民参加による防災訓練の実施 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. 消防団員の育成・確保 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 9. 救命救急・搬送体制の整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 10. 緊急輸送路の確保・整備 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 11. その他(具体的にご記入ください: |) | | | |

問12 あなたは、学校教育・生涯学習の分野で、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|----------------------------------|---------|----------|-------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によって必要である | 必要でない |
| 1. 学力向上の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. 少人数学級など、きめ細かな教育の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. 国際理解教育や情報教育の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. 情操教育や道徳教育の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. ボランティアなど、体験的・実践的な学習の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 地域の人材や学習素材を活用した教育の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 家庭や地域との連携 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. 教職員の資質向上など、教育指導体制の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 9. 障害児教育の充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 10. 学校における食育の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 11. 各種講座や催し物などの充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 12. 指導者の確保・育成 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 13. 図書館や公民館、文化・スポーツ施設など活動の場の整備充実 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 14. 不登校やいじめ問題など、心の問題対策 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 15. その他(具体的にご記入ください:) | | | | |

問13 あなたは、今後の行政体制・行政運営に対し、具体的にどのような取り組みが必要だとお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| 項目 | 必要度 | | | |
|-----------------------------|---------|----------|-------------|-------|
| | 絶対必要である | かなり必要である | 場合によって必要である | 必要でない |
| 1. 積極的な情報公開による透明性の高い行政運営の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 2. 市民の視点に立った行政運営の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 3. 良好な財政状況の維持 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 4. スリムで効率的な行政体制の構築 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 5. 職員の資質向上 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 6. 協働のまちづくりの推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 7. 指定管理者制度の導入など民間委託の推進 | イ | ロ | ハ | ニ |
| 8. その他(具体的にご記入ください:) | | | | |

■ 市民と行政のあり方についておたずねします。

問 1 4 道路や公共施設などの老朽化による維持補修費用や超高齢社会の到来による社会保障費など、今後の財政需要は自然増が予測されています。このような厳しい財政状況下において、行財政改革や現在の行政サービスの水準と負担の関係についてどのようにお考えですか。

すべての項目について、あなたのお考えに近いものを、いずれか一つを選び○印で囲んでください。

| | そう思う | そう 思わない | どちらとも いえない |
|--|------|------------|---------------|
| 1. 厳しい財政状況に対応するため、行財政改革を進めることが必要である | 1 | 2 | 3 |
| 2. 既存の補助金や制度を見直し、必要度の高いものに絞り込むべきである | 1 | 2 | 3 |
| 3. 公共施設やサービスなどのコストに応じ、利用者が応分の負担をすべきである | 1 | 2 | 3 |
| 4. 財政健全化のためであれば、行政サービスの見直しは仕方ない | 1 | 2 | 3 |
| 5. 簡素で効率的な行政システムにするため、公共施設の民間委託や事務事業の民営化は必要である | 1 | 2 | 3 |

問 1 5 あなたは、市の窓口サービスの向上について、どのようなことを望みますか。

次の中から取り組みが必要だと思うものを二つまで選び番号を○印で囲んでください。

| |
|--|
| <p>1. 窓口の一本化による申請手続き等の簡素化、短縮化</p> <p>2. 窓口における接遇態度の向上</p> <p>3. 総合的な電話相談窓口の開設</p> <p>4. 休日や時間外の窓口業務の延長</p> <p>5. 各種申請や申し込み手続きの電子化</p> <p>6. 郵便局・コンビニエンスストア等への自動交付機導入による 住民票など各種証明書の発行</p> <p>7. その他(具体的にご記入ください:)</p> |
|--|

問16 あなたは、今後、どのような公共的な活動に参加したいとお考えですか。

次の中からお考えに近いものをいくつでも選び番号を○印で囲んでください。

1. 地域で行う運動会や祭りなどの行事
2. 住み良いまちづくりに役立つ清掃や美化運動
3. 災害時などのボランティアとしての救援活動
4. 高齢者や障害者への手助けや施設でのお手伝い
5. 地域で取り組む子育て支援
6. 自然保護などの環境保護活動
7. 文化財保護やスポーツなどの指導・協力
8. まちづくりへの提言や実践
9. その他(具体的にご記入ください:)

■ 山梨市の将来像や望ましい地域イメージについておたずねします。

問17 山梨市が将来(10年後)、どのようなまちであって欲しいと思いますか。

次の中から二つまで選び番号を○印で囲んでください。

1. 自然環境と街並みが調和した住み良いまち
2. 保健・医療・福祉施設や制度が充実したやさしいまち
3. 安心して子育てができるまち
4. 生活環境の整った安全で快適なまち
5. フルーツの香りあふれる農業のまち
6. 商業や流通など、経済活動が活発な賑わいのあるまち
7. 観光資源を生かした交流のあるまち
8. 歴史や文化がいきづく創造性豊かなまち
9. 世界に向かって開かれた国際的なまち
10. ICT(情報通信技術)の活用が進んでいる先進的なまち
11. 地域における互助・協力が行われ、コミュニティが活性化するまち
12. その他(具体的にご記入ください:)

■ 第1次山梨市総合計画に示されている、まちづくりの指標等についておたずねします。

問18 次の項目について、あなたのお考え、あるいは認識度、状況についておたずねします。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

| | | |
|------------------------------|----|-----|
| 1. 男女の地位が平等になっている | はい | いいえ |
| 2. かかりつけ医がいる | はい | いいえ |
| 3. スポーツ施設が利用しやすい | はい | いいえ |
| 4. 市役所の窓口対応に満足している | はい | いいえ |
| 5. 災害発生時の避難場所を知っている | はい | いいえ |
| 6. フィールドミュージアム構想を知っている | はい | いいえ |
| 7. 広報誌から市の有益な情報を得ている | はい | いいえ |
| 8. CATVで放映している「お知らせ山梨市」を見ている | はい | いいえ |
| 9. 市ホームページを利用している | はい | いいえ |

■ 男女共同参画についておたずねします。

問19 次の項目について、あなたのお考え、あるいは認識度、状況についておたずねします。すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

| | | |
|--|----|-----|
| 1. 「男女共同参画社会」という言葉を聞いたことがある | はい | いいえ |
| 2. <u>*ドメスティックバイオレンス</u> を受けたことがある | はい | いいえ |
| 3. 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」と思う | はい | いいえ |
| 4. 「地域」において、男女の地位は平等だと感じる | はい | いいえ |
| 5. 「家庭生活」において、男女の地位は平等だと感じる | はい | いいえ |
| 6. 「職場」において、男女の地位は平等だと感じる | はい | いいえ |
| 7. 「配偶者暴力防止法」を知っている | はい | いいえ |
| 8. 平成24年度中に、育児休業を取得または取得見込みの男性が同じ世帯にいる | はい | いいえ |
| 9. 「仕事と生活の調和(ワークライフバランス)」という言葉を見たことがある | はい | いいえ |

※ドメスティックバイオレンス…夫婦・恋人同士など親しい間で、身体的・心理的暴力を受けること

問20 平成23年3月11日に発生した東日本大震災のあと、人と人のつながりや支え合い、コミュニティ意識について、あなたの気持ちや行動に変化のあったことはありますか。

すべての項目について、「はい」・「いいえ」のうち、あなたのお考えに近いものをそれぞれ一つ選び○印で囲んでください。

| | | |
|---|----|-----|
| 1. 家族や親せきと過ごす時間をより大切にするようになった | はい | いいえ |
| 2. 離れて暮らす家族や親せきとよく連絡をとりあうようになった | はい | いいえ |
| 3. 友人・知人と過ごす時間をより大切にするようになった | はい | いいえ |
| 4. 遠くの友人・知人とよく連絡をとりあうようになった | はい | いいえ |
| 5. 近隣の高齢者や障害者の見守りなど、近所同士で支えあおうという気持ちが強くなった | はい | いいえ |
| 6. 自治会(区や組)の活動など、機会があれば地域をよくする活動に参加しても良いと思うようになった | はい | いいえ |
| 7. ボランティア活動など、機会があれば社会に貢献する活動に参加してもよいと思うようになった | はい | いいえ |

問2 1 その他、山梨市のまちづくりや行政運営に関するご意見やご要望がございましたら、次の欄に自由にお書きください。

| |
|--|
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |
| |

調査は、以上です。

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

- この調査票は、同封の返信用封筒にそのまま入れ、
2月14日(木)までに、ご投函くださいますようお願いいたします。
(切手は不要です)
- 市役所政策秘書課又は牧丘・三富支所の総務担当窓口へ、
直接提出いただくこともできます。